

岩手県立盛岡地区統合新設校体育館新築(建築)工事

岩手県立盛岡地区統合新設校体育館新築(建築)工事 図面リスト

意 匠 図						構 造 図					
図面種別	図面名称	縮尺	図面種別	図面名称	縮尺	図面種別	図面名称	縮尺	図面種別	図面名称	縮尺
	表紙	—	A - 050	展開図(2)※ロビー1-1・1-2	1/50	A - 201	平均地盤面算定図	1/250	S - 001	構造特記仕様書(1)	—
A - 000	図面リスト	—	A - 051	展開図(3)※ロビー1-1・1-2	1/50	A - 202	延べ面積・建築面積積算図(1)	1/200	S - 002	構造特記仕様書(2)	—
A - 001	特記仕様書(1)	—	A - 052	展開図(4)※器具庫1-1~1-3、管理事務室	1/50	A - 203	延べ面積・建築面積積算図(2)	1/200	S - 003	構造関係共通事項(1)	—
A - 002	特記仕様書(2)	—	A - 053	展開図(5)※管理事務室、研修室1・2、更衣室2-1・2-2	1/50	A - 204	日影図	1/250	S - 004	構造関係共通事項(2)	—
A - 003	特記仕様書(3)	—	A - 054	建具共通事項	—	A - 205	仮設計画図1(参考図)	1/300	S - 005	構造関係共通事項(3)	—
A - 004	特記仕様書(4)	—	A - 055	建具キープラン(1)	1/150	A - 206	仮設計画図2(参考図)	1/300	S - 006	構造関係共通事項(4)	—
A - 005	特記仕様書(5)	—	A - 056	建具キープラン(2)	1/150	A - 207	仮設計画図3(参考図)	1/300	S - 007	構造関係共通事項(5)	—
A - 006	特記仕様書(6)	—	A - 057	建具表(1)	1/100				S - 008	構造関係共通事項(6)	—
A - 007	特記仕様書(7)	—	A - 058	建具表(2)	1/100				S - 009	構造関係共通事項(7)	—
A - 008	特記仕様書(8)	—	A - 059	建具詳細図※AD-201・202、AW-201	1/5				S - 010	鉄骨標準詳細図(1)	—
A - 009	工事区分表	—	A - 060	建具詳細図※WD-101・102	1/5				S - 011	鉄骨標準詳細図(2)	—
A - 010	敷地現況図・敷地求積図	1/300	A - 061	ボクシング場詳細図	1/50, 1/20				S - 012	鉄骨標準詳細図(3)	—
A - 011	案内図・配置図	1/200	A - 062	1階 鋼製床伏図	1/100				S - 013	鉄骨標準詳細図(4)	—
A - 012	一般共通事項・外部仕上げ表	—	A - 063	1階 鋼製床断面詳細図	1/5				S - 014	機械式定着工法標準書	—
A - 013	内部仕上げ表(1)	—	A - 064	アリーナ システム壁詳細図	1/10, 1/50				S - 015	床型枠用鋼製デッキプレート 設計・施工標準(1)	—
A - 014	内部仕上げ表(2)	—	A - 065	アリーナ システム壁展開図(1)	1/100				S - 016	床型枠用鋼製デッキプレート 設計・施工標準(2)	—
A - 015	ピット階平面図	1/200	A - 066	アリーナ システム壁展開図(2)	1/100				S - 017	調査位置図・推定地質断面図	—
A - 016	1階平面図	1/200	A - 067	アリーナ コートライン配置図	1/100				S - 018	ポーリング柱状図	—
A - 017	2階平面図	1/200	A - 068	アリーナ 球技用基礎配置図・詳細図、床金具詳細図	図示				S - 019	基礎伏図	1/200
A - 018	屋根伏図	1/200	A - 069	アリーナ 体育器具用伏図・バスケゴール詳細図	1/250, 1/50				S - 020	1階伏図	1/200
A - 019	壁下地種別詳細図	1/5	A - 070	アリーナ 防球ネット詳細図	1/100				S - 021	2階伏図	1/200
A - 020	1・2階壁下地種別平面図	1/200	A - 071	スライディングウォール平面図・展開図	1/50				S - 022	R1階伏図・R1階+3050屋根伏図	1/200
A - 021	R階壁下地種別平面図	1/200	A - 072	スライディングウォール詳細図	1/4				S - 023	軸組図(1)	1/200
A - 022	1階法規チェック図	1/200	A - 073	付帯設備キープラン・詳細図	図示				S - 024	軸組図(2)	1/200
A - 023	2・R階法規チェック図	1/200	A - 074	消音ルーバー詳細図	図示				S - 025	軸組図(3)	1/200
A - 024	1・2階天井伏図	1/200	A - 075	ボルダリング壁詳細図	1/40				S - 026	軸組図(4)	1/200
A - 025	R階天井伏図	1/200	A - 076	ボルダリングフェンス詳細図	図示				S - 027	軸組図(5)	1/200
A - 026	立面図	1/200	A - 077	部分詳細図	1/6, 1/10				S - 028	軸組図(6)	1/200
A - 027	断面図	1/200	A - 078	(参考図) アリーナ 球技器具詳細図	図示				S - 029	軸組図(7)	1/200
A - 028	断面詳細図(1)	1/50							S - 030	基礎断面表(1)	1/50
A - 029	断面詳細図(2)	1/50							S - 031	基礎断面表(2)	1/50
A - 030	断面詳細図(3)	1/50							S - 032	基礎梁断面表(1)	1/40
A - 031	断面詳細図(4)	1/50							S - 033	基礎梁断面表(2)	1/40
A - 032	断面詳細図(5)	1/50							S - 034	柱芯線図	1/75, 1/150
A - 033	階段1 詳細図	1/50							S - 035	柱断面表	1/40
A - 034	階段2 詳細図	1/50							S - 036	大梁断面表(1)	1/40
A - 035	屋外階段1、屋外階段3 詳細図	1/50	A - 100	家具キープラン	1/200				S - 037	大梁断面表(2)	1/40
A - 036	屋外階段2・スロープ2 詳細図	1/50	A - 101	家具図(1)	1/20				S - 038	片持梁・小梁断面表	1/40
A - 037	屋外階段4詳細図	1/50	A - 102	家具図(2)	1/20				S - 039	スラブ・壁断面表	1/50
A - 038	スロープ1詳細図	1/50	A - 103	家具図(3)	1/20				S - 040	鉄骨部材断面表	1/40
A - 039	1階 平面詳細図(1)	1/50	A - 104	家具図(4)	1/20				S - 041	場所打ち一体式PC工事特記仕様書	—
A - 040	1階 平面詳細図(2)	1/50	A - 105	家具図(5)	1/20				S - 042	PRC関連図	1/200, 1/20
A - 041	1階 平面詳細図(3)	1/50	A - 106	昇降機詳細図(1)	—				S - 043	PRC大梁配線配筋リスト	1/40
A - 042	1階 平面詳細図(4)	1/50	A - 107	昇降機詳細図(2)	1/20				S - 044	架橋配筋詳細図	1/50
A - 043	2階 平面詳細図(1)	1/50	A - 108	昇降機詳細図(3)	1/20, 1/50				S - 045	アリーナ屋根トラス伏図(1)	1/100
A - 044	2階 平面詳細図(2)	1/50	A - 109	昇降機詳細図(4)	1/10				S - 046	アリーナ屋根トラス伏図(2)	1/100
A - 045	2階 平面詳細図(3)	1/50	A - 110	昇降機詳細図(5)	1/4				S - 047	アリーナ屋根トラス伏図(3)	1/100
A - 046	2階 平面詳細図(4)	1/50	A - 111	カーテンプラン	1/200				S - 048	アリーナ屋根トラス伏図(4)	1/100
A - 047	水廻り詳細図(1)	1/50	A - 112	1階サイン配置図	1/200				S - 049	アリーナ屋根トラス断面・軸組図(1)	1/100
A - 048	水廻り詳細図(2)	1/50	A - 113	2階・屋上サイン配置図	1/200				S - 050	アリーナ屋根トラス断面・軸組図(2)	1/100
A - 049	展開図(1)※ボクシング場、トレーニング室	1/50	A - 114	サイン詳細図	—				S - 051	アリーナ屋根トラス断面・軸組図(3)	1/100

外 構 図		
図面種別	図面名称	縮尺
L-001	外構計画平面図	1/250
L-002	外構排水計画平面図	1/250
L-003	外構計画断面図(1)	1/250
L-004	外構計画断面図(2)	1/250
L-005	外構詳細図	図示
L-006	外構既存撤去平面図	1/250
L-007	インフラ擁壁貫通確認図	図示
L - 010	計画平面図	1/300
L - 011	計画平面図(施設管理者)	1/300
L - 012	計画平面図(舗装面積平面図)	1/300
L - 013	進入路等横断面図	1/50
L - 014	擁壁工	図示
L - 015	雨水貯留浸透施設	図示
L - 016	集水樹	1/30
L - 017	排水等構造図	図示
L - 018	計画平面図(撤去取壊し平面図)	1/300

<p>E ソフト</p> <ul style="list-style-type: none"> Microsoft Office365(指定バージョン) Autodesk AutoCAD(指定バージョン) Autodesk Revit(指定バージョン) <p>F その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ホワイトボード(月間予定表) 図面スタンド又は図面ケース その他監理者の指示するもの。(ヘルメット、安全帯、長靴、安全靴、掛け時計、上履き、雨合羽、掃除機、消火器等) <p>G WEB会議システム</p> <ul style="list-style-type: none"> WEB会議用ライセンス (Microsoft Teams、Zoomなど) 上記用のノートパソコン WEB会議用マイク・スピーカーシステム (参考: ヤマハAVC-1000 マイク5台付属) 液晶モニター (50 インチ程度) WE B会議用カメラ (単独カメラ) <p>H CDE(共通データ環境)</p> <ul style="list-style-type: none"> 監理者には、CDEへのアクセス権限及びライセンスを付与する。 <p>(4) 監理者事務所を敷地内に仮設で設置できない場合は、監理者と協議する。 (5) パソコン・BIM用パソコンの性能は監理者の指示による。</p>	<p>2. コンクリートブロック 機壁及び壁</p> <p>[8. 3. 2][8. 3. 4]</p>	<p>(1) 種類</p> <ul style="list-style-type: none"> モジュール呼び寸法 正味厚さ <p>(2) 化粧有りブロック (欄の場合):</p> <ul style="list-style-type: none"> 適用する 適用しない <p>(3) 各部の配筋:</p> <ul style="list-style-type: none"> 図示 	<p>ii 防水層の種類、 種別及び工程</p> <p>[9. 2. 3]</p>	<p>(7) 立上り部の保護</p> <ul style="list-style-type: none"> 乾式保護材 (t15 EOP 通気孔付) れんが ※JIS R 1250 (普通れんが及び化粧れんが) 	<p>ii 防水層の種類及び工程</p> <p>[9. 3. 3]</p>	<p>防水層の工程による種別:</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>屋根露出防水工法 (環境配慮タイプ)</th> <th>種 別</th> <th>仕上塗料の種別及び使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">(1) 屋根露出防水密着工法</td> <td>AS-T1(トーチ工法)</td> <td>種類: () 使用量: ()</td> </tr> <tr> <td>AS-T2(トーチ工法)</td> <td>種類: () 使用量: ()</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">(2) 屋根露出防水絶縁工法</td> <td>AS-T3(トーチ工法)</td> <td>種類: () 使用量: ()</td> </tr> <tr> <td>AS-T4(トーチ工法)</td> <td>種類: () 使用量: ()</td> </tr> <tr> <td>AS-J1(常温粘着工法)</td> <td>種類: () 使用量: ()</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(3) 屋根露出防水絶縁断熱工法</td> <td>AS-I-T1(トーチ工法)</td> <td>種類: () 使用量: ()</td> </tr> <tr> <td>AS-I-J1(常温粘着工法)</td> <td>種類: () 使用量: ()</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 屋根露出防水工法の脱気装置 種類 () 数量 ()</p> <p>(3) 屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置 種類 () 数量 ()</p>	屋根露出防水工法 (環境配慮タイプ)	種 別	仕上塗料の種別及び使用量	(1) 屋根露出防水密着工法	AS-T1(トーチ工法)	種類: () 使用量: ()	AS-T2(トーチ工法)	種類: () 使用量: ()	(2) 屋根露出防水絶縁工法	AS-T3(トーチ工法)	種類: () 使用量: ()	AS-T4(トーチ工法)	種類: () 使用量: ()	AS-J1(常温粘着工法)	種類: () 使用量: ()	(3) 屋根露出防水絶縁断熱工法	AS-I-T1(トーチ工法)	種類: () 使用量: ()	AS-I-J1(常温粘着工法)	種類: () 使用量: ()						
	屋根露出防水工法 (環境配慮タイプ)	種 別		仕上塗料の種別及び使用量																												
(1) 屋根露出防水密着工法	AS-T1(トーチ工法)	種類: () 使用量: ()																														
	AS-T2(トーチ工法)	種類: () 使用量: ()																														
(2) 屋根露出防水絶縁工法	AS-T3(トーチ工法)	種類: () 使用量: ()																														
	AS-T4(トーチ工法)	種類: () 使用量: ()																														
	AS-J1(常温粘着工法)	種類: () 使用量: ()																														
(3) 屋根露出防水絶縁断熱工法	AS-I-T1(トーチ工法)	種類: () 使用量: ()																														
	AS-I-J1(常温粘着工法)	種類: () 使用量: ()																														
<p>● 8. 工事用水の使用</p> <p>● 9. 工事用電力の使用</p> <p>● 10. 障害物の処理</p> <p>● 11. 仮設物撤去その他</p> <p>[2. 4. 1]</p>	<p>(1) 構内既存の施設</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用できる (※有償 ・ 無償) ●利用できない <p>(2) 建物引き渡しまでの基本料金、使用料金は受注者負担とする。</p> <p>(1) 構内既存の施設</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用できる (※有償 ・ 無償) ●利用できない <p>(2) 建物引き渡しまでの基本料金、使用料金は受注者負担とする。</p> <p>工事中撤去・移設等を要する軽微なものは本工事の範囲とする。</p> <p>工事目的の一部を仮設に使用する場合、又は、仮設開口を設置する場合などについては、工事目的物の養生及び復旧、又は補強等の計画書を作成し、監督職員の承認を受ける。</p>	<p>(1) 取付構法種別:</p> <ul style="list-style-type: none"> A種 B種 <p>(2) パネル幅300mm未満の適用:</p> <ul style="list-style-type: none"> ※なし パネル幅 mm以上 <p>(3) 伸縮目地幅:</p> <ul style="list-style-type: none"> 短辺 ※20mm () 出隅入隅 ※20mm () <p>(4) 伸縮目地の耐火目地材充填:</p> <ul style="list-style-type: none"> 充填する 充填しない <p>(5) 耐風圧性能</p> <ul style="list-style-type: none"> 正圧2,000N/m²以下 負圧1,600N/m²以下 正圧2,000N/m²超 負圧1,600N/m²超 <p>(6) 耐震性能</p> <ul style="list-style-type: none"> ※層間変形への追随性能1/100 (脱落及び取り付け強度上有害なひび割れが生じない) <p>(7) 耐火構造は、建築基準法に基づき国土交通大臣が定めた構造方法を用いるもの又は国土交通大臣の認定を受けたものとする。</p> <p>(8) 外部に面する部分のパネルの目地は、シーリング材を充填する。</p> <p>(9) 鉄骨二次部材:</p> <ul style="list-style-type: none"> 開口補強材: 	<p>ii 施工</p> <p>[9. 2. 4]</p>	<p>屋根保護防水工法 (環境配慮タイプ) は以下同等品 (技術審査証明書) とする。 施工に当たっては、iii 施工 (4) の施工要領を厳守する。</p> <p>A-1、B-1同等:</p> <ul style="list-style-type: none"> 田島&フング(株) ※田島&フング(株) PX-035 (ｽﾄﾗｲﾌﾞ 工法) 日新工業(株) ※日新工業(株) FP-2 (ﾋﾞｯｸﾞｽﾄｯｸ 新熱工法) <p>A-2、B-2同等:</p> <ul style="list-style-type: none"> 田島&フング(株) ※田島&フング(株) PX-030 (ｽﾄﾗｲﾌﾞ 工法) 日新工業(株) ※日新工業(株) FP-1 (ﾋﾞｯｸﾞｽﾄｯｸ 新熱工法) <p>AI-1、BI-1同等:</p> <ul style="list-style-type: none"> 田島&フング(株) ※田島&フング(株) PX-035R (ｽﾄﾗｲﾌﾞ 工法) 日新工業(株) ※日新工業(株) FP-2 (ﾋﾞｯｸﾞｽﾄｯｸ 新熱工法) <p>AI-2、BI-2同等:</p> <ul style="list-style-type: none"> 田島&フング(株) ※田島&フング(株) PX-030R (ｽﾄﾗｲﾌﾞ 工法) 日新工業(株) ※日新工業(株) FP-1 (ﾋﾞｯｸﾞｽﾄｯｸ 新熱工法) 	<p>● 3. 合成高分子系 ルーフィングシート防水 材料</p> <p>[9. 4. 2]</p>	<p>(1) ルーフィングシートの種類:</p> <ul style="list-style-type: none"> 加硫ゴム系 (S-F1、S-M1、S-I-F1、S-I-M1) 塩化ビニル樹脂系 (S-F2、S-M2、S-I-F2、S-I-M2) 熱可塑性ポリマー系 (S-M3) エチレン酢酸ビニル樹脂系 (S-C1) <p>(2) ルーフィングシートの厚さ:</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>厚 さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>● S-F1、S-M3、S-I-F1</td> <td>※1.2mm ● (1.52)</td> </tr> <tr> <td>● S-F2、S-I-F2</td> <td>※2.0mm ()</td> </tr> <tr> <td>● S-M1、S-M2、S-I-M1、S-I-M2</td> <td>※1.5mm ()</td> </tr> <tr> <td>● S-C1</td> <td>※1.0mm ()</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 可塑性移行防止用シートの材質: ※発泡ポリエチレンシート ()</p> <p>(4) 断熱工法に用いる断熱材</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 機械的固定方法: JIS A 9521 (建築用断熱材) による発泡プラスチック断熱材 種類 () 厚さ () ● JIS A9521 の規格に準ずる (透水係数を除く) 硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 JIS A 9521 (建築用断熱材) による発泡プラスチック断熱材 種類 () 厚さ () JIS A9521 の規格に準ずる (透水係数を除く) 硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 密度、熱伝導率がJIS A 9521 の規格に準ずるポリエチレンフォーム断熱材 <p>接着工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工 法</th> <th>種 別</th> <th>仕上塗料等の種類 及び使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">● 接着工法 (断熱工法)</td> <td>S-F1</td> <td>S-F2</td> </tr> <tr> <td>S-I-F1</td> <td>S-I-F2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">● 機械的固定工法 (断熱工法)</td> <td>S-M1</td> <td>S-M2</td> </tr> <tr> <td>S-I-M1</td> <td>S-I-M2</td> </tr> <tr> <td>● 屋内保護密着工法</td> <td>S-C1</td> <td>種類: ※モルタル 使用量: ()</td> </tr> </tbody> </table> <p>S-F2、S-M2 の場合の軽歩行の適用 () 適用する S-F1、S-M1 の場合の歩行仕様との適用 () 適用する</p> <p>(1) S-M2 の場合で立上りを接着工法とする場合の、立上り面のシート厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ※1.5mm () <p>(2) S-I-M2 の場合で立上りを接着工法とする場合の、立上り面のシート厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ※1.5mm () <p>(3) 接着工法の場合の脱気装置</p> <ul style="list-style-type: none"> 種類 () 配置数量 () <p>(4) 仕上塗料</p> <ul style="list-style-type: none"> 種類 () 使用量 () ※使用量はルーフィングシート製造所の仕様による。 <p>目地処理 (接着工法及び屋内保護密着工法)</p> <p>PCコンクリート部材下地及びALCパネル下地 (種別S-C1) の場合:</p> <ul style="list-style-type: none"> () <p>入隅部の増張り</p> <p>種別S-F1及びS-I-F1のPCコンクリート部材入隅部並びに種別S-C1の場合のALCパネル下地及びPCコンクリート部材の入隅部:</p> <ul style="list-style-type: none"> () <p>一般部のルーフィングシートの張付け</p> <p>機械的固定工法の場合、建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法:</p> <ul style="list-style-type: none"> () <p>保護層 (屋内密着工法)</p> <p>(1) 平場のモルタル塗り</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 床塗りの工法 ※標準仕様書[15. 3. 5] (2) (4) (7) に準ずる ● タイル張り下地等の下地モルタル塗り ※標準仕様書[15. 3. 5] (4) (7) に準ずる <p>(2) 平場を保護コンクリート仕上げとする場合の保護コンクリート厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> () <p>(3) 立上り部の保護モルタル塗厚</p> <ul style="list-style-type: none"> ※t≦7mm () 	種 別	厚 さ	● S-F1、S-M3、S-I-F1	※1.2mm ● (1.52)	● S-F2、S-I-F2	※2.0mm ()	● S-M1、S-M2、S-I-M1、S-I-M2	※1.5mm ()	● S-C1	※1.0mm ()	工 法	種 別	仕上塗料等の種類 及び使用量	● 接着工法 (断熱工法)	S-F1	S-F2	S-I-F1	S-I-F2	● 機械的固定工法 (断熱工法)	S-M1	S-M2	S-I-M1	S-I-M2	● 屋内保護密着工法	S-C1	種類: ※モルタル 使用量: ()
種 別	厚 さ																															
● S-F1、S-M3、S-I-F1	※1.2mm ● (1.52)																															
● S-F2、S-I-F2	※2.0mm ()																															
● S-M1、S-M2、S-I-M1、S-I-M2	※1.5mm ()																															
● S-C1	※1.0mm ()																															
工 法	種 別	仕上塗料等の種類 及び使用量																														
● 接着工法 (断熱工法)	S-F1	S-F2																														
	S-I-F1	S-I-F2																														
● 機械的固定工法 (断熱工法)	S-M1	S-M2																														
	S-I-M1	S-I-M2																														
● 屋内保護密着工法	S-C1	種類: ※モルタル 使用量: ()																														
<p>第3章</p> <p>土 工 事</p> <p>項 目 特 記 事 項</p> <p>● 1. 埋戻し及び盛土 [3. 2. 3]</p> <ul style="list-style-type: none"> 埋戻し及び盛土の材料及び工法: A種 ● B種 ● C種 ● D種 <p>● 2. 建設発生土の処理 [3. 2. 5]</p> <ul style="list-style-type: none"> ※構外に搬出し、関係法令等に従い、適切に処理する。 ● (構外搬出適切処理、ダンプトラック10t 積載、バックホウ0.8m³土砂、D/D区間無し、4.0m以下) <p>● 3. 山留めの撤去 [3. 3. 3]</p> <ul style="list-style-type: none"> ※山留めの撤去は、撤去しても安全であることを確認した後、慎重に行い、鋼材等の抜き跡は地盤の変形を防止する適切な措置を講ずる。 ● 存置する (存置物及び範囲:) 	<p>4. ALCパネル 外壁パネル構法</p> <p>[8. 4. 3]</p>	<p>(1) 取付構法種別:</p> <ul style="list-style-type: none"> A種 B種 <p>(2) パネル幅300mm未満の適用:</p> <ul style="list-style-type: none"> ※なし パネル幅 mm以上 <p>(3) 伸縮目地幅:</p> <ul style="list-style-type: none"> 短辺 ※20mm () 出隅入隅 ※20mm () <p>(4) 伸縮目地の耐火目地材充填:</p> <ul style="list-style-type: none"> 充填する 充填しない <p>(5) 耐風圧性能</p> <ul style="list-style-type: none"> 正圧2,000N/m²以下 負圧1,600N/m²以下 正圧2,000N/m²超 負圧1,600N/m²超 <p>(6) 耐震性能</p> <ul style="list-style-type: none"> ※層間変形への追随性能1/100 (脱落及び取り付け強度上有害なひび割れが生じない) <p>(7) 耐火構造は、建築基準法に基づき国土交通大臣が定めた構造方法を用いるもの又は国土交通大臣の認定を受けたものとする。</p> <p>(8) 外部に面する部分のパネルの目地は、シーリング材を充填する。</p> <p>(9) 鉄骨二次部材:</p> <ul style="list-style-type: none"> 開口補強材: 	<p>iii 施工</p> <p>[9. 2. 4]</p>	<p>屋根露出防水工法 (環境配慮タイプ) は以下同等品 (技術審査証明書) とする。 施工に当たっては、iii 施工 (5) の施工要領を厳守する。</p> <p>D-1同等:</p> <ul style="list-style-type: none"> 田島&フング(株) ※田島&フング(株) SX-020 (ｽﾄﾗｲﾌﾞ 工法) 日新工業(株) ※日新工業(株) SP-2 (ﾋﾞｯｸﾞｽﾄｯｸ 新熱工法) <p>D-2同等:</p> <ul style="list-style-type: none"> 田島&フング(株) ※田島&フング(株) SX-015 (ｽﾄﾗｲﾌﾞ 工法) 日新工業(株) ※日新工業(株) SP-1 (ﾋﾞｯｸﾞｽﾄｯｸ 新熱工法) <p>D1-1同等:</p> <ul style="list-style-type: none"> 田島&フング(株) ※田島&フング(株) SX-020G (ｽﾄﾗｲﾌﾞ 工法) 日新工業(株) ※日新工業(株) SP1-2 (ﾋﾞｯｸﾞｽﾄｯｸ 新熱工法) <p>D1-2同等:</p> <ul style="list-style-type: none"> 田島&フング(株) ※田島&フング(株) SX-015G (ｽﾄﾗｲﾌﾞ 工法) 日新工業(株) ※日新工業(株) SP1-1 (ﾋﾞｯｸﾞｽﾄｯｸ 新熱工法) 	<p>ii 施工</p> <p>[9. 4. 3]</p>	<p>屋根露出防水工法 (環境配慮タイプ) は以下同等品 (技術審査証明書) とする。 施工に当たっては、iii 施工 (5) の施工要領を厳守する。</p> <p>D-1同等:</p> <ul style="list-style-type: none"> 田島&フング(株) ※田島&フング(株) SX-020 (ｽﾄﾗｲﾌﾞ 工法) 日新工業(株) ※日新工業(株) SP-2 (ﾋﾞｯｸﾞｽﾄｯｸ 新熱工法) <p>D-2同等:</p> <ul style="list-style-type: none"> 田島&フング(株) ※田島&フング(株) SX-015 (ｽﾄﾗｲﾌﾞ 工法) 日新工業(株) ※日新工業(株) SP-1 (ﾋﾞｯｸﾞｽﾄｯｸ 新熱工法) <p>D1-1同等:</p> <ul style="list-style-type: none"> 田島&フング(株) ※田島&フング(株) SX-020G (ｽﾄﾗｲﾌﾞ 工法) 日新工業(株) ※日新工業(株) SP1-2 (ﾋﾞｯｸﾞｽﾄｯｸ 新熱工法) <p>D1-2同等:</p> <ul style="list-style-type: none"> 田島&フング(株) ※田島&フング(株) SX-015G (ｽﾄﾗｲﾌﾞ 工法) 日新工業(株) ※日新工業(株) SP1-1 (ﾋﾞｯｸﾞｽﾄｯｸ 新熱工法) 	<p>iii 施工</p> <p>[9. 4. 4]</p>	<p>(1) 防水層下地をモルタル塗りとする箇所: () ● B種 ()</p> <p>(2) 立上り打放しコンクリートの仕上げ: ()</p> <p>(3) 屋根露出防水絶縁断熱工法</p> <p>ルーフトレイン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置: ()</p> <p>(4) 屋根保護防水工法 (環境配慮タイプ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 出隅、入隅は最下層に幅300以上のｽﾄﾗｲﾌﾞ-ﾌﾝｸﾞ 1000 を増張りする。(ﾊﾞｯｸﾞｽﾄｯｸ天端の出隅は除く) 防水層の立上り部の納まりは、所定の位置に各防水層の端部をそろえ、押え金物で固定した上に、シール材を充填する。 屋根露出防水工法 (環境配慮タイプ) <ol style="list-style-type: none"> 出隅、入隅は最下層に幅300以上のｽﾄﾗｲﾌﾞ-ﾌﾝｸﾞ 1000 を増張りする。(ﾊﾞｯｸﾞｽﾄｯｸ天端の出隅は除く) 平場の立上り部から500mm程度は、立上り部1層目のｱｽﾌﾙﾄﾞ-ﾌﾝｸﾞ 類を防水工事用ｱｸﾘﾙを用いて密着張りとする。 防水層の立上り部の納まりは、所定の位置に各防水層の端部をそろえ、押え金物で固定した上に、シール材を充填する。 																								
<p>第4章</p> <p>地 業 工 事</p> <p>項 目 特 記 事 項</p> <p>※ 1. 共通事項</p> <p>構造図仕様書による</p>	<p>5. ALCパネル 間仕切壁パネル構法</p> <p>[8. 4. 4]</p>	<p>(1) 取付構法種別:</p> <ul style="list-style-type: none"> C種 D種 E種 <p>(2) 耐震性能</p> <ul style="list-style-type: none"> ※層間変形への追随性能1/150以上 (脱落及び取り付け強度上有害なひび割れが生じない) <p>(3) 耐火構造は、建築基準法に基づき国土交通大臣の認定を受けたものとする。</p> <p>(4) 伸縮目地の耐火目地材充填:</p> <ul style="list-style-type: none"> 充填する 充填しない <p>耐火シール: () ● 有 () ● 無 ()</p> <p>(5) 防火区画等、耐火性能が要求される箇所の下地鋼材には、必要な耐火性能を有する耐火被覆処理を行う。</p>	<p>iv 保護層等の施工</p> <p>[9. 2. 5]</p>	<p>屋内防水工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>保 護 層 の 設 置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>● 屋内防水密着工法</td> <td>E-1 () 設置する () E-2 () 設置しない ()</td> </tr> </tbody> </table>	種 別	保 護 層 の 設 置	● 屋内防水密着工法	E-1 () 設置する () E-2 () 設置しない ()	<p>iv 保護層等の施工</p> <p>[9. 2. 5]</p>	<p>(1) 保護コンクリートの厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> こて仕上げの場合: ※80mm以上 () 仕上げをする場合: ※60mm以上 () <p>(2) 立上り部の保護:</p> <ul style="list-style-type: none"> 乾式保護材 れんが押え コンクリート押え モルタル押え(屋内) <p>(3) 屋上排水溝</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 仕上げ: ※モルタル金こて仕上げ () ● 水下での厚さ: ※40mm以上 () ● 溶接金網: ※鉄線径2.6mm、網目寸法50mm () ● 水勾配: ※1/200以上 () 																						
種 別	保 護 層 の 設 置																															
● 屋内防水密着工法	E-1 () 設置する () E-2 () 設置しない ()																															
<p>第5章</p> <p>鉄 筋 工 事</p> <p>項 目 特 記 事 項</p> <p>※ 1. 共通事項</p> <p>構造図仕様書による</p>	<p>6. ALC屋根及び床パネル工法</p>	<p>(1) 取付工法種別:</p> <ul style="list-style-type: none"> A種 B種 <p>(2) 耐風圧性能</p> <ul style="list-style-type: none"> ※たわみ・指示スパンの1/200かつ2cm以下 ● 風圧分布 ● ○QN/m²以下 ● 図示 ※層間変形への追随性能1/100以上 (脱落及び取り付け強度上有害なひび割れが生じない) <p>(3) 耐震性能</p> <ul style="list-style-type: none"> ※適用 <p>(4) 幅300mm未満:</p> <ul style="list-style-type: none"> 短辺: ※15mm以上 () mm 長辺: ※10mm以上 () mm <p>(5) パネル相互の目地幅:</p> <ul style="list-style-type: none"> 短辺: ※15mm (シーリング充填) () mm 長辺: ※10mm () mm <p>(6) 出隅・入隅のﾊﾞｯｸﾞｽﾄｯｸ接合目地 (伸縮目地)</p> <ul style="list-style-type: none"> 目地幅: ※15mm (シーリング充填) () mm <p>(7) 耐火構造は、建築基準法に基づき国土交通大臣の認定を受けたものとする。</p>	<p>iv 保護層等の施工</p> <p>[9. 2. 5]</p>	<p>屋内防水工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>保 護 層 の 設 置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>● 屋内防水密着工法</td> <td>E-1 () 設置する () E-2 () 設置しない ()</td> </tr> </tbody> </table>	種 別	保 護 層 の 設 置	● 屋内防水密着工法	E-1 () 設置する () E-2 () 設置しない ()	<p>iv 保護層等の施工</p> <p>[9. 2. 5]</p>	<p>(1) 防水層下地をモルタル塗りとする箇所: () ● B種 ()</p> <p>(2) 立上り打放しコンクリートの仕上げ: ()</p> <p>(3) 屋根露出防水絶縁断熱工法</p> <p>ルーフトレイン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置: ()</p> <p>(4) 屋根保護防水工法 (環境配慮タイプ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 出隅、入隅は最下層に幅300以上のｽﾄﾗｲﾌﾞ-ﾌﾝｸﾞ 1000 を増張りする。(ﾊﾞｯｸﾞｽﾄｯｸ天端の出隅は除く) 防水層の立上り部の納まりは、所定の位置に各防水層の端部をそろえ、押え金物で固定した上に、シール材を充填する。 屋根露出防水工法 (環境配慮タイプ) <ol style="list-style-type: none"> 出隅、入隅は最下層に幅300以上のｽﾄﾗｲﾌﾞ-ﾌﾝｸﾞ 1000 を増張りする。(ﾊﾞｯｸﾞｽﾄｯｸ天端の出隅は除く) 平場の立上り部から500mm程度は、立上り部1層目のｱｽﾌﾙﾄﾞ-ﾌﾝｸﾞ 類を防水工事用ｱｸﾘﾙを用いて密着張りとする。 防水層の立上り部の納まりは、所定の位置に各防水層の端部をそろえ、押え金物で固定した上に、シール材を充填する。 																						
種 別	保 護 層 の 設 置																															
● 屋内防水密着工法	E-1 () 設置する () E-2 () 設置しない ()																															
<p>第6章</p> <p>コンクリート工事</p> <p>項 目 特 記 事 項</p> <p>※ 1. 共通事項</p> <p>構造図仕様書による</p>	<p>7. 押出成形セメント板 外壁パネル工法</p> <p>[8. 5. 2]</p>	<p>(1) 取付工法種別:</p> <ul style="list-style-type: none"> A種 B種 <p>(2) 耐風圧性能</p> <ul style="list-style-type: none"> ※たわみ・指示スパンの1/200かつ2cm以下 ● 風圧分布 ● ○QN/m²以下 ● 図示 ※層間変形への追随性能1/100以上 (脱落及び取り付け強度上有害なひび割れが生じない) <p>(3) 耐震性能</p> <ul style="list-style-type: none"> ※適用 <p>(4) 幅300mm未満:</p> <ul style="list-style-type: none"> 短辺: ※15mm以上 () mm 長辺: ※10mm以上 () mm <p>(5) パネル相互の目地幅:</p> <ul style="list-style-type: none"> 短辺: ※15mm (シーリング充填) () mm 長辺: ※10mm () mm <p>(6) 出隅・入隅のﾊﾞｯｸﾞｽﾄｯｸ接合目地 (伸縮目地)</p> <ul style="list-style-type: none"> 目地幅: ※15mm (シーリング充填) () mm <p>(7) 耐火構造は、建築基準法に基づき国土交通大臣の認定を受けたものとする。</p>	<p>iv 保護層等の施工</p> <p>[9. 2. 5]</p>	<p>屋内防水工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>保 護 層 の 設 置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>● 屋内防水密着工法</td> <td>E-1 () 設置する () E-2 () 設置しない ()</td> </tr> </tbody> </table>	種 別	保 護 層 の 設 置	● 屋内防水密着工法	E-1 () 設置する () E-2 () 設置しない ()	<p>iv 保護層等の施工</p> <p>[9. 2. 5]</p>	<p>(1) 保護コンクリートの厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> こて仕上げの場合: ※80mm以上 () 仕上げをする場合: ※60mm以上 () <p>(2) 立上り部の保護:</p> <ul style="list-style-type: none"> 乾式保護材 れんが押え コンクリート押え モルタル押え(屋内) <p>(3) 屋上排水溝</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 仕上げ: ※モルタル金こて仕上げ () ● 水下での厚さ: ※40mm以上 () ● 溶接金網: ※鉄線径2.6mm、網目寸法50mm () ● 水勾配: ※1/200以上 () 																						
種 別	保 護 層 の 設 置																															
● 屋内防水密着工法	E-1 () 設置する () E-2 () 設置しない ()																															
<p>第7章</p> <p>鉄 骨 工 事</p> <p>項 目 特 記 事 項</p> <p>※ 1. 共通事項</p> <p>構造図仕様書による</p>	<p>8. 押出成形セメント板 間仕切壁パネル工法</p> <p>[8. 5. 4]</p>	<p>(1) 取付工法種別:</p> <ul style="list-style-type: none"> B種 C種 <p>(2) 耐震性能に対応した工法</p> <ul style="list-style-type: none"> () <p>(3) 耐火構造は、建築基準法に基づき国土交通大臣の認定を受けたものとする。</p> <p>(4) 伸縮目地の耐火目地材充填:</p> <ul style="list-style-type: none"> 充填する 充填しない <p>(5) 防火区画等、耐火性能が要求される箇所の下地鋼材には、必要な耐火性能を有する耐火被覆処理を行う。</p>	<p>iv 保護層等の施工</p> <p>[9. 2. 5]</p>	<p>屋内防水工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>保 護 層 の 設 置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>● 屋内防水密着工法</td> <td>E-1 () 設置する () E-2 () 設置しない ()</td> </tr> </tbody> </table>	種 別	保 護 層 の 設 置	● 屋内防水密着工法	E-1 () 設置する () E-2 () 設置しない ()	<p>iv 保護層等の施工</p> <p>[9. 2. 5]</p>	<p>(1) 保護コンクリートの厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> こて仕上げの場合: ※80mm以上 () 仕上げをする場合: ※60mm以上 () <p>(2) 立上り部の保護:</p> <ul style="list-style-type: none"> 乾式保護材 れんが押え コンクリート押え モルタル押え(屋内) <p>(3) 屋上排水溝</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 仕上げ: ※モルタル金こて仕上げ () ● 水下での厚さ: ※40mm以上 () ● 溶接金網: ※鉄線径2.6mm、網目寸法50mm () ● 水勾配: ※1/200以上 () 																						
種 別	保 護 層 の 設 置																															
● 屋内防水密着工法	E-1 () 設置する () E-2 () 設置しない ()																															
<p>第8章</p> <p>コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事</p> <p>項 目 特 記 事 項</p> <p>1. 補強コンクリート ブロック造</p> <p>[8. 2. 2]~[8. 2. 7]</p> <p>(1) 種類</p> <ul style="list-style-type: none"> 空洞ブロックC種(16) モジュール呼び寸法 400×200 正味厚さ 100 120 150 190 セメント: 砂 <p>(2) モルタルの調査</p> <p>(3) コンクリートの調査</p> <p>設計基準強度 (Fc): ※2.1 N/mm²以上 () N/mm²</p> <p>(4) 各部の配筋: ● 図示 ()</p> <p>(5) モルタル又はコンクリートで充填する範囲</p> <p>(6) 目地仕上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 押し目地仕上げ ● 化粧目地仕上げ 	<p>9. 防水工事</p> <p>特 記 事 項</p> <p>1. アスファルト防水 材料</p> <p>[9. 2. 2]</p> <p>(1) アスファルトルーフィング類:</p> <ul style="list-style-type: none"> 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ: ※[表9. 2. 3~表9. 2. 8]による 種類: () 厚さ: () <p>部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ:</p> <ul style="list-style-type: none"> ※[表9. 2. 5~表9. 2. 8]による 種類: () 厚さ: () <p>(2) 押え金物の材質及び形状寸法:</p> <ul style="list-style-type: none"> ※アルミニウム製 L-30×15×2.0程度 () <p>(3) 屋根保護防水断熱工法の断熱材の材質及び厚さ:</p> <ul style="list-style-type: none"> 材質: () ※JIS A 9521 押出法ｽﾄﾗｲﾌﾞ-ﾌﾝｸﾞ断熱材3種bA(ｽﾄｯｸ層付き) 厚さ: () <p>(4) 屋根露出防水断熱工法の断熱材の材質及び厚さ:</p> <ul style="list-style-type: none"> 材質: () ※JIS A 9521 発泡プラスチック断熱材 種類: () 厚さ: () <p>(5) 屋根保護防水工法の絶縁用シート材料:</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ポリエチレンフィルム t=0.15以上 () <p>(6) 屋根保護防水断熱工法の絶縁用シート材料:</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ｸﾞﾗｯﾌﾟﾙｼﾝ、ｸﾞﾗｽﾌﾞﾘｯｸ等を平織りしたﾌﾗｯﾄﾞｰﾝｸﾞ(70g/m²程度) () 	<p>2. 改質アスファルト シート防水 材料</p> <p>[9. 3. 2]</p> <p>(1) 改質アスファルトシート</p> <ul style="list-style-type: none"> 種類: () 厚さ: () <p>(2) 粘着層付改質アスファルトシートおよび部分粘着層付改質アスファルトシート</p> <ul style="list-style-type: none"> 種類: () 厚さ: () <p>(3) 押え金物</p> <ul style="list-style-type: none"> 材質: () 形状: () 寸法: () <p>(4) 屋根露出防水絶縁断熱工法に用いる断熱材</p> <ul style="list-style-type: none"> 種類: JIS A 9521 発泡プラスチック断熱材 厚さ: () 	<p>iv 保護層等の施工</p> <p>[9. 3. 2]</p>	<p>ii 防水層の種類及び工程</p> <p>[9. 3. 3]</p>	<p>ii 防水層の種類及び工程</p> <p>[9. 3. 3]</p>	<p>● 4. 塗膜防水 防水層の種類及び工程</p> <p>[9. 5. 3]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>防水の種類</th> <th>種 別</th> <th>特 記</th> <th>仕上塗料の種類 及び使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">●ｸﾙｯｺﾞﾑ系 塗 膜防水</td> <td>X-1 (絶縁工法)</td> <td>脱気装置の種類: () 設置数量: ()</td> <td>種類: () 使用量: ()</td> </tr> <tr> <td>X-2 (密着工法)</td> <td>()</td> <td>種類: () 使用量: ()</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">●ｸﾞﾗﾌﾞﾌﾞﾙ系塗 膜防水</td> <td>Y-1</td> <td>()</td> <td>種類: () 使用量: ()</td> </tr> <tr> <td>Y-2</td> <td>保護層の設置: ●要 ●不要</td> <td>()</td> </tr> </tbody> </table>	防水の種類	種 別	特 記	仕上塗料の種類 及び使用量	●ｸﾙｯｺﾞﾑ系 塗 膜防水	X-1 (絶縁工法)	脱気装置の種類: () 設置数量: ()	種類: () 使用量: ()	X-2 (密着工法)	()	種類: () 使用量: ()	●ｸﾞﾗﾌﾞﾌﾞﾙ系塗 膜防水	Y-1	()	種類: () 使用量: ()	Y-2	保護層の設置: ●要 ●不要	()								
防水の種類	種 別	特 記	仕上塗料の種類 及び使用量																													
●ｸﾙｯｺﾞﾑ系 塗 膜防水	X-1 (絶縁工法)	脱気装置の種類: () 設置数量: ()	種類: () 使用量: ()																													
	X-2 (密着工法)	()	種類: () 使用量: ()																													
●ｸﾞﾗﾌﾞﾌﾞﾙ系塗 膜防水	Y-1	()	種類: () 使用量: ()																													
	Y-2	保護層の設置: ●要 ●不要	()																													
<p>凡例</p>	<p>岩手県立盛岡地区統合新設校体育館新築(建築) 工事</p> <p>特記仕様書 (2)</p> <p>作成日 2024.03 階数 -</p>	<p>A-002</p>	<p>通し番号</p>																													

6. 直交集成板 [12.2.1(5)] (1) 直交集成板 適用箇所 品名 強度等級 種別 接着性能 樹種名 寸法

7. 合板等 [12.2.1(6)] (1) 床張り用合板等: 普通合板 構造用合板 パーテックボード 構造用合板 MDF

8. 接合具等 [12.2.2] (1) 造作材の化粧面の釘打ち ※隠し釘打ち ●釘頭埋め木

9. 木れんが [12.2.3] (1) 工場における薬剤の加圧注入処理等による防腐・防蟻処理

10. 防腐・防蟻処理 [12.3.1] (1) 適用箇所: () (2) 保存処理性能区分: K2 ※K3 K4

11. 防虫処理 [12.3.2] (1) 行う 行わない

第13章 屋根及びとい工事

1. 長尺金属葺き材料 [13.2.2] (1) 長尺金属葺きの種類: ※JIS G 3322(塗装溶融5%Zn-Ni-亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)の屋根用コイル

ii 工法 [13.2.3] (1) 屋根葺き形式: 心木なし瓦葺き 立平葺き 横葺き

2. 折板葺き材料 [13.3.2] (1) 形式による区分: 重ね形(K)又ははせ総形(H) かん合形(G)

ii 工法 [13.3.3] (1) 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法: ()

3. 粘土瓦葺き材料 [13.4.2] (1) 粘土瓦の種類等: 種類: ゆう葉がわら いぶしがわら 無ゆうがわら

ii 工法 [13.4.3] (1) 建築基準法に基づく風圧力又は地震力に対応した瓦の葺き方法等の工法: ()

(3) 棟木の留付け工法: 木材以外の野地板の材料: ()

(4) 棟の工法: 7寸丸伏せ葺き F型用冠瓦伏せ葺き

(5) 面戸、雀口、葺土の露出する瓦接合部仕上: モルタル 瓦葺き用しっくい

4. とい材料 [13.5.2] (1) といその他: 配管用鋼管 排水管継手 硬質ポリ塩化ビニル管 硬質ポリ塩化ビニル管継手

ii 工法 [13.5.3] (1) 鋼管製といの防露巻き: ※[表13.5.4] ()

第14章 金属工事

1. 一般事項 i 工法 [14.1.3] (1) といと施工アンカーの引抜き耐力の確認試験: ●適用する

2. アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 [14.2.1] (1) アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

3. 鉄鋼の亜鉛めっき [14.2.2] (1) 亜鉛めっきの種類: ●A種 ●B種 ●C種 ●D種

4. ステンレスの表面仕上げ (1) 表面仕上げの種類: ()

5. 軽量鉄骨天井下地 i 材料 [14.4.2] (1) 野縁等の種類: ※屋内19形、屋外25形 ()

ii 形式及び寸法 [14.4.3] (1) 屋外の野縁受、つりボルト及びインサートの間隔: (750)

iii 工法 [14.4.4] (1) つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法: ()

6. 軽量鉄骨壁下地 i 形式及び寸法 [14.5.3] (1) スタッド、ラナー等の種類: ()

ii 工法 [14.5.4] (1) 鉄骨造の場合の上部ランナーの固定方法: ()

7. 天井金属成形板張り i 材料 [14.6.2] (1) 金属成形板の種類: 鋼板製 ステンレス板 7&3&2板製 ()

ii 工法 [14.6.3] (1) 取付け用下地: ※軽量鉄骨天井下地 ()

8. アルミニウム製支木 i 材料 [14.7.2] (1) 部材の種類: ●250形 ●300形 ●350形 ●(450形)

ii 工法 [14.7.3] (1) 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法: ()

第15章 左官工事

1. ラス系下地 [15.2.4] (1) 施工: 二層下地 単層下地

2. モルタル塗り i 材料 [15.3.2] (1) 種類: (箇所) 現場調合材料

ii 工法 [15.3.5] (1) 床目地の設置: ●設ける ●設けない

3. セルフレベリング材塗り i 材料 [15.5.2] (1) 適用 (施工箇所): ()

4. 仕上塗材仕上げ i 材料 [15.6.2] (1) 内装仕上げに用いる塗材のAA7&7&7放散量: ※F☆☆☆☆

B. 厚付け仕上塗材

呼び名	仕上げの形状	工法	性能
外装薄塗材C	吹付け 凸凹処理	吹付け	
外装厚塗材S	吹付け 凸凹処理	吹付け	
外装厚塗材E	吹付け 凸凹処理	吹付け	
内装厚塗材C	吹付け 凸凹処理	吹付け	吸放湿性
内装厚塗材L	吹付け 凸凹処理	吹付け	吸放湿性
内装厚塗材S	吹付け 凸凹処理	吹付け	吸放湿性
内装厚塗材E	吹付け 凸凹処理	吹付け	吸放湿性
内装厚塗材W	吹付け 凸凹処理	吹付け	吸放湿性

C. 複層仕上塗材

呼び名	仕上げの形状	塗材の種類 [表15.5.2]	耐水性	工法
複層塗材CE	凸凹処理	※水系アクリルつやあり	1種 2種 3種	吹付け
複層塗材RE	凸凹処理	※水系アクリルつやあり	1種 2種 3種	吹付け
複層塗材SE	凸凹処理	※水系アクリルつやあり	1種 2種 3種	吹付け
複層塗材Si	凸凹処理	※水系アクリルつやあり	1種 2種 3種	吹付け

D. 軽量骨材仕上塗材

呼び名	仕上げの形状	工法
吹付け用軽量塗材	砂壁状	吹付け
こて用軽量塗材	平たん状	こて塗り

6. マスチック塗材塗り [15.7.2] マスチック塗材塗りの種別: A種 B種 [表15.7.1]

7. しっくい塗り [15.10.1] 下地: せっこうボード せっこうラスボード モルタル塗り

8. こまい壁塗り材料 [15.11.2] (ア)土壁用のり: のり 粉末海藻 ※つのまた () ぎんなんそう

9. ロックウール吹付け材料 [15.12.2] (1) ロックウールのAA7&7&7放散量: ※F☆☆☆☆ ()

第16章 建具工事

1. 防火戸 [16.1.3] (1) 防火戸の指定: ※図示 (建具表) ()

2. 見本の製作等 [16.1.4] (1) 建具見本の製作: 行う (対象建具) () ●行わない

3. その他 [16.1.6] 防火組物部品の適用: 適用する (図示 (建具表)) ●適用しない

4. アルミニウム製建具 i 性能及び構造形状及び仕上げ [16.2.2] [16.2.4] (1) 外部に面する建具の性能等級等: コンクリート系下地又は鉄骨下地

種別	耐風圧性	気密性	水密性	視見込み	適用箇所
A種	S-4	A-3	W-4	※70	
B種	S-5	A-3	W-4	※70	
C種	S-6	A-4	W-5		

凡例

岩手県立盛岡地区統合新設校体育館新築(建築)工事

特記仕様書 (4)

作成日 2024.03 階数 -

A-004

Table with 4 columns: Material/Work Type, Specifications, Performance/Requirements, and Notes. Includes sections for materials (ii), shapes (iii), and construction methods (iv).

Table with 4 columns: Material/Work Type, Specifications, Performance/Requirements, and Notes. Includes sections for materials (ii), shapes (iii), and construction methods (iv).

Table with 4 columns: Material/Work Type, Specifications, Performance/Requirements, and Notes. Includes sections for materials (ii), shapes (iii), and construction methods (iv).

Table with 4 columns: Material/Work Type, Specifications, Performance/Requirements, and Notes. Includes sections for materials (ii), shapes (iii), and construction methods (iv).

Table with 4 columns: Material/Work Type, Specifications, Performance/Requirements, and Notes. Includes sections for materials (ii), shapes (iii), and construction methods (iv).

Table with 4 columns: Material/Work Type, Specifications, Performance/Requirements, and Notes. Includes sections for materials (ii), shapes (iii), and construction methods (iv).

ii 施工 [19.8.3]
・コンクリート面の素地ごしらえ
・せっこうボード面の素地ごしらえ
・A種 ※B種 [表18.2.5]
・A種 ※B種 [表18.2.7]

●8. 断熱・防露
i 断熱材打込み工法 [19.9.2]
(1)材料：JIS A 9521(建築用断熱材)
種類 種類 厚さ(mm) 程度
・ビーズ法
・ポリスチレンフォーム断熱材
又は保温材
・1号
・2号
・3号
・4号
・25
・50
・図示

●8. 鏡 [20.2.10]
●9. 表示 [20.2.11]
●10. タラップ [20.2.12]
11. 煙突ライニング [20.2.13]
●12. ブラインド [20.2.14]
●13. ロールスクリーン [20.2.15]
●14. カーテン及びカーテンレール [20.2.16]

施工場所 W, H 厚さ 箇所数
図示 図示 ※5mm () 図示

●(1)衝突防止表示：形状 寸法 10×50×300 材質 カテイングシート
●(2)非常用出入口等の表示(消防法適合市販品)：適用する 適用しない
●(3)表示の詳細についてはサイン図による

材料及び仕上げ：
施工場所 材料の種類 表面処理の種類
図示※背かご付き ※スチルス (7R) ・鋼 ※ 研磨等仕上げを行わない
・ () ・ () ・ 亜鉛めっきC種
・ () ・ () ・ No.2B ・ ()

●19. ステンレス流し台等
●20. 洗面カウンター ※別途機械設備工事参照
●21. 化粧鏡
●22. トイレ手摺・身障用トイレ手摺 ※別途機械設備工事参照
●23. ベビーキープ ※別途機械設備工事参照
●24. ベビーシート ※別途機械設備工事参照
25. ユニット設備
26. 敷地境界石標
27. 旗ざお
28. 旗ざお受け金物
●29. 鍵箱
●30. 郵便ポスト
31. ガラス防煙垂壁
●32. フェンス
33. 屋外掲示板
34. 車止め支柱
●35. エキスパンション・ジョイント金物
36. 駐車場用コーナーガード
●37. 止水板
●38. 視覚障害者誘導ブロック
39. くつろぎマット
●40. 消火器ボックス ※別途機械設備工事参照
42. 傘立
●43. 定礎板
44. 集塵機
45. メンテナンスタワー

●床点検口：
●材質：ステンレス
●サイズ：600×600
●仕様：※床材仕上げめ込みタイプ ●密閉型 ●鍵付
●製造所 評価名簿による

※優良住宅部分(公共住宅形)
施工箇所 コンロ台 流し台(トラップ付) 吊り戸棚 水切り棚 ミニキッチン
図示

・仕上げ：花崗石本磨き ・大理石本磨き ・人造大理石
・施工箇所：メラミン化粧板ポルトフォーム加工
・図示

●パネル構造 ※フラッシュ構造 ・積層構造

●厚さ ※6mm 防湿タイプ ●サイズ：図示
●施工箇所：図示
・ステール抗菌樹脂コーティング(既製品)

・仕上げ：※ステンレス製(既製品)
・箇所数：図示部分
・程度：軟質塩化ビニル樹脂被覆φ34

・仕上げ：※FRP製
・寸法：箇所
・箇所数：箇所
・程度：箇所

・仕上げ：※FRP製
・寸法：箇所
・箇所数：箇所
・程度：箇所

	ユニットA	ユニットB	ユニットC	ユニットD
形式	-	-	-	-
寸法	図示	図示	図示	図示
材質	図示	図示	図示	図示
付帯設備	図示	図示	図示	図示

参考型番
※入口扉顔縁：樹脂製(既製品)

・A種 ※B種

・形式：※テーパー式 ・同一断面式
・材質：※アルミニウム合金
・高さ：10m
・程度：
・箇所：

・材質：
・箇所数：※ステンレス鋼(SUS304)

●50本用(既製品) 1ヶ
・程度：図示

●ステンレス製(既製品)
●程度：図示

・材質：アルミニウム製 ・図示 ※下部特付

・ビニル被覆エキスパンドフェンス ・樹脂塗装メッシュフェンス
●鋼管フェンス ●図示

・製造所：

・照明器具： ※有り ・無し
・施 錠： ※有り ・無し
・製造所：
・図示

・ステンレス製(上下式)鋼製径114.3mm t=2.5mm H=GL+700mm
※スプリング付 ・スプリング無し

●材質：アルミニウム ●ステンレス
●クリアランス：50 ・100 ・150 ●200
・耐火性能 ●有り(・無し)
・製造所：

・材質：軟質塩化ビニル+芯材アルミ製 H=2,000 エンドキャップ付
図示による

・材質：水膨張止水ゴム (10×20)

●インナーロッキング ●磁器質タイル
●ステンレス製(既製品) ●合成樹脂製(既製品)

・材質：塩化ビニル ・天然ゴム ・硬質アルミ合金
・ステンレス鋼
・受持：ステンレス鋼(SUS304)6×25
・程度

●床置型(屋外型)：図示
●壁埋込型：図示
●壁掛け型：図示

・粉末小型消火器(10型) ・中性強化液消火器2型

・サイズ
・箇所数：箇所
・配置：図示
・フレーム、パネル： SUS HL

●材質 ※SUSHL ・御影石 t30 (彫り込み文字 30文字程度)
●寸法 ※W=600 H=450 程度(石割りに合わせ監督員の指示により調整)
●定礎箱(タイムカプセル) ・設ける ・設けない
※1.0鋼板製W=500 H=300 D=50

・自走式ローリングタワー 昇降4m

●46. 貫通孔 その他 [19.3.1]
●47. 開口補強リスト及び機械基礎リスト

・材質 外壁の地中部分水密を要する ※つば付鋼管
外壁の地中部分一般 ※塩化ビニル管
箇所数
寸法 基礎梁(土中) 基礎梁(内部)
50φ 4 7
75φ 1 47
100φ 1 17
125φ 4 32

※上記箇所数は設備開口補強部のみとし、建築開口補強部は図示するものとする。
※鉄骨梁は構造図による。

■スリブ補強個数
寸法 1階床梁
50φ 1
75φ 22
100φ 10
125φ 7
150φ 19

■壁・スラブ開口補強個数
寸法 1階床 1階LGS壁 2階床
50φ 4
100φ 1
125φ 2
400×200 5
1,000×200 1

■天井開口補強
形状 箇所数 形状 箇所数
200×200 14
300×300 6
400×400 14
600×600 2
950×950 19
150×1,250 25

※上記箇所数は設備開口補強部のみとし、建築開口補強部は図示するものとする。

■天井点検口開口補強個数
450口 ※天井伏図による
600口 ※天井伏図による

■基礎リスト
・下記表による ●図示 (A-016 1階平面図、A-018 屋根伏図による)

第20章 ユニット及びその他工事
項目 特記事項
1. フリーアクセスフロア [20.2.2]
・(1)表面仕上材の寸法：()×()×()
・(2)パネルの寸法：()×()×()
・(3)フリーアクセスフロア高さ：()
・(4)耐震性能：()
・(5)所定荷重：()
・(6)帯電防止性能：()
・(7)漏えい抵抗：()
・(8)耐荷重性能：()
・(9)耐衝撃性能：()
・(10)「シールド」性能：()
・(11)耐燃焼性能：()
・(12)寸法精度 ※20.2.2(2)(オ) ()
参考品番等：
2. 可動間仕切 [20.2.3]
・(1)構造形式による種類：(スライド式(内臓))
・(2)構成材の種類：(アルミニウム合金系・スチール系)
・(3)遮音性：(31.3dB/500Hz以上)
・(4)パネルの鉛47dB放散量：(※F☆☆☆☆)
・(5)表面仕上げ：(特等フロートガラス10t)
・(6)パネル内に取り付ける建具の寸法形状：(※標準による)
●3. 移動間仕切 [20.2.4]
・(1)パネルの操作方法による種類：(ドアハンドル仕様)
・(2)パネル表面材の材質及び仕上げ：(SPPC 0.6t 焼付塗装/強化ガラス5t)
・(3)パネル圧接装置の操作方法：(ワンタッチシール機構)
・(4)遮音性：(35.7dB/500Hz以上)
・(5)ハンガーレール取り付け下地の補強：(※標準による)
・(6)パネルをランナーに取り付ける部品：(※標準による)
・(7)ハンガーレールの強度：(※標準による)
・(8)ランナーの強度：(※標準による)
・(9)後施工アンカーの材質、寸法：(材質、寸法等は図示又は製造所の仕様による)
●4. トイレブース [20.2.5]
・(1)パネル表面材：●メラミン化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板
・(2)パネルの鉛47dB放散量：() ※F☆☆☆☆
・(3)脚部の種類：() ※巾木タイプ
・(4)ドアエッジの材質：() ※トイレブース製造所の仕様
・(5)パネル構造：※フラッシュ構造 ・積層構造 ・ハニカム構造
・(6)付属金物：※ステンレス製HL ・アルミ製着色 ・照明付き
・(7)規格：※既製品 ・オーダーメイド
・(8)程度：() 同等品
●5. 手すり [20.2.6]
材料及び仕上げ：
施工箇所 材料の種類 仕上げ
図示 ※スチルス (7R) ・鋼 (図示) 図示
・ () ・ ()
●(1)材質：●ステンレス製 (SUS304) ・黄銅製押出型材
・アルミ製押出型材
●(2)形状：●タイヤ入り ●タイヤ無し
●(3)寸法：●35mm ●40mm
●(4)工法：●埋込み工法 ※接着工法
(1)黒板
区分： ※焼付け ()
種類： ・鋼製黒板 ・ほうろう黒板
色： ※緑 ・黒 ・白
枠： ※7R×10mm製(か) ・無し
(2)ホワイトボード
材料：
サイズ：
●6. 階段滑り止め [20.2.7]
●(1)材質：●ステンレス製 (SUS304) ・黄銅製押出型材
・アルミ製押出型材
●(2)形状：●タイヤ入り ●タイヤ無し
●(3)寸法：●35mm ●40mm
●(4)工法：●埋込み工法 ※接着工法
(1)黒板
区分： ※焼付け ()
種類： ・鋼製黒板 ・ほうろう黒板
色： ※緑 ・黒 ・白
枠： ※7R×10mm製(か) ・無し
(2)ホワイトボード
材料：
サイズ：
●7. 黒板及びホワイトボード [20.2.9]

●15. プレキャストコンクリート工事 [20.3.1]~[20.3.4]
●16. 間知石及びコンクリート間知ブロック積み [20.4.1]~[20.4.4]
●17. コーナーガード
●18. 点検口
●施工箇所：図示
●天井点検口：図示
●材質：アルミ押出型材 焼付塗装(指定色)
●程度：●一般タイプ ・エアータイトタイプ(清潔ゾーン)

●19. ステンレス流し台等
●20. 洗面カウンター ※別途機械設備工事参照
●21. 化粧鏡
●22. トイレ手摺・身障用トイレ手摺 ※別途機械設備工事参照
●23. ベビーキープ ※別途機械設備工事参照
●24. ベビーシート ※別途機械設備工事参照
25. ユニット設備
26. 敷地境界石標
27. 旗ざお
28. 旗ざお受け金物
●29. 鍵箱
●30. 郵便ポスト
31. ガラス防煙垂壁
●32. フェンス
33. 屋外掲示板
34. 車止め支柱
●35. エキスパンション・ジョイント金物
36. 駐車場用コーナーガード
●37. 止水板
●38. 視覚障害者誘導ブロック
39. くつろぎマット
●40. 消火器ボックス ※別途機械設備工事参照
42. 傘立
●43. 定礎板
44. 集塵機
45. メンテナンスタワー

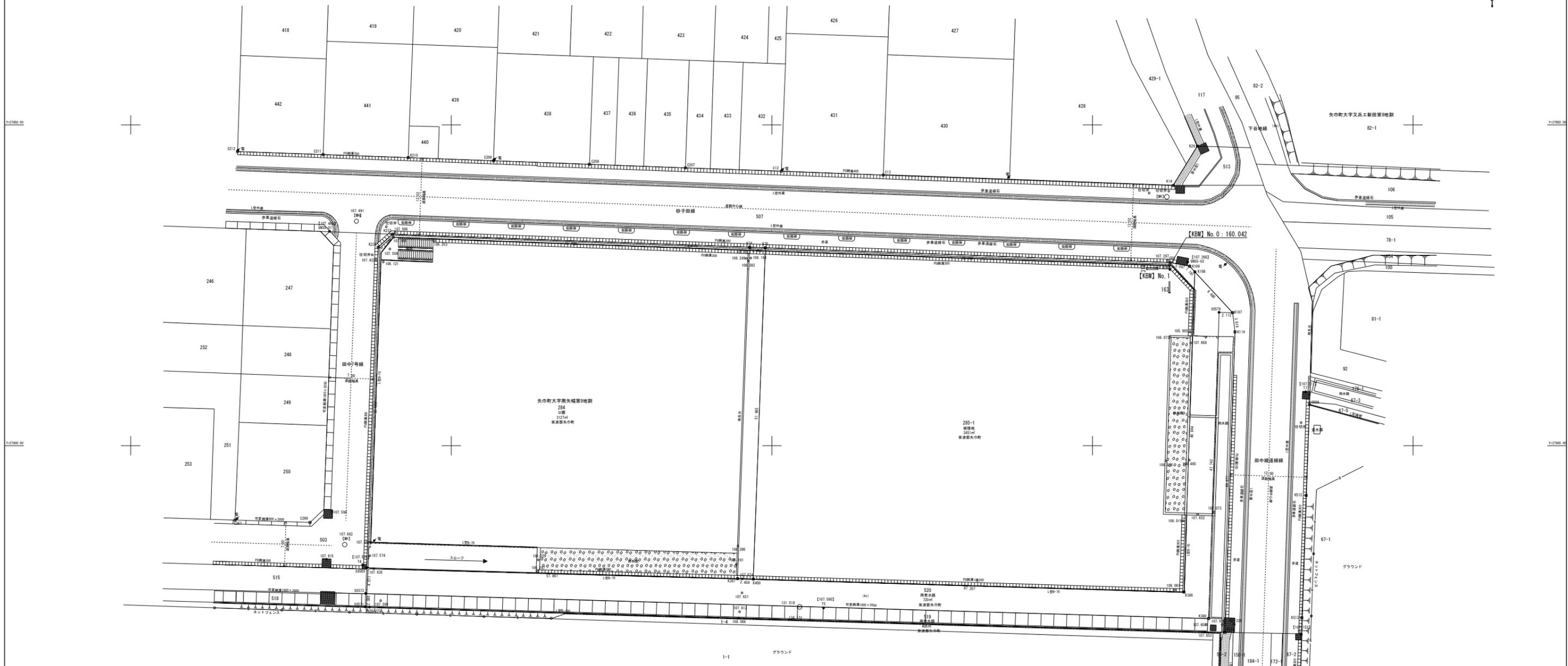
第21章 排水工事
項目 特記事項
●1. 材料
i 排水管 [21.2.1]
配水管材料：(規格名称) 管の種類・記号 呼び径
・連心力鉄筋コンクリート管 外圧管 (1種) ()
●硬質ポリ塩化ビニル管 VP ()
VU ()
・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管 RS-VU ()
●硬質ポリ塩化ビニル管継手 DV ()
VU継手 ()
ii 側溝・排水溝等 [21.2.1]
●(1)側溝 形状及び寸法： ※図示
●(2)排水溝及びふた A. 適用荷重：●14t ●6t
B. 種類：※鋼製 ・鋼製 ・SUS製
●(3)鋼製ふたの名称及び種類： ()
●(4)グレーチング：
A. 材質：() ※SUS製 ・鋼製 ●鋼製
B. 用途：() 図示
C. 適用荷重：●14t ●6t
D. メインバーピッチ：※()m/m ()m/m ●歩行箇所は細目ノンスリップ
E. ボルト固定：・有 ・無
iii その他の材料 [21.2.1]
●(1)地業の材料：
砂地業：●山砂 ・川砂 ・研砂
砂利地業：●再生クラッシュ・ラン ・切込砂利 ・切込砕石
●(2)コンクリート材料(無筋コンクリート)：
コンクリートの種類：() ※普通コンクリート
設計基準強度：() ※18N/m²
スランプ：() ・15cm ・18cm
●(3)鉄筋の種類：() ※SD295
・(4)地上印刷層に用いる材料：() ・適用する
砂の粒度試験： ・適用する
●(5)埋戻し材料の種類：・A種 ※B種 ・C種 ・D種
●2. 施工
i 適用範囲 [21.2.2]
※適用工法以外の工法は設計者との協議による
ii 工法 [21.2.2]
●(1)内法600超かつ深さ1.2m超の排水溝の足掛け金物：
●幅40mm、径22mmのステンレス製
・径22mmの防錆処理を行った鋼製
・径19mmの合成樹脂被覆
・連心力鉄筋コンクリート管： ・基礎の厚さ：()m/m ・種類：()
●硬質ポリ塩化ビニル管： ・基礎の厚さ：()m/m ・種類：()

凡例
岩手県立盛岡地区統合新設校体育館新築(建築)工事
A-007
特記仕様書(7)
作成日 2024.03 期次 -

● 3. 街きよ、縁石及び側溝 i 材料 [21. 3. 1]	● 硬質ポリ塩化ビニル管の継手： ※接着剤使用 ・ ゴム輪使用	ii 材料 [22. 6. 3]	・ (1) 添加する骨材 ・ 着色骨材： () ・ 自然石： ()	4. 芝張り、吹付けは種 及び地被類 i 材料 [23. 4. 2]	・ (1) 芝の種類： ※コウライ芝の類 ・ ノシバの類 ・ (2) 吹付けは種用種子 種子の種類及び量： 種類 ※洋芝類 ・ () 量 ・ ()
	ii 工法 [21. 3. 2]	・ (1) コンクリート縁石及び側溝の形状、寸法： 形状・寸法 ● 縁石 W=(図示) H=() ・ L型側溝 W=() H=() ● U型側溝 W=(図示) H=() ・ U型側溝ふた W=(図示) H=() ・ (2) 地業の材料： ※再生クラッシュン、切込砂利又は切込砕石 粒度0-40程度 () ・ 砂利事業の厚さ： ※ 100 ・ ()	・ (1) 舗装の構成： ・ () ・ (2) 舗装の平坦性： ※着しい不陸がないもの ・ ()		
第22章 舗 装 工 事					
項 目 特 記 事 項					
● 1. 路床 i 路床の構成及び仕上り [22. 2. 2]	・ (1) 凍上抑制層： ・ 適用する 凍上抑制層の厚さ () ・ 適用しない ・ (2) フィルター層の厚さ(透水性舗装)： ・ 車道部： () mm ・ 歩道部： () mm ・ (3) 路床安定処理： ・ 適用する 安定処理の方法： ・ 厚 さ： () mm ・ CBR： () mm ・ 適用しない	ii 材料 [22. 8. 3]	・ (1) コンクリート平板の種類及び寸法、厚さ： ※普通平板 種類： ・ N300 ・ N400 ・ N450 ・ N500 寸法： ・ 厚さ： ・ 30 ※ 60 ・ 80 ・ 透水性平板 種類： ・ P300 ・ P400 ・ P450 ・ P500 寸法： ・ 厚さ： ・ 60 ・ 80 ・ 保水性平板 種類： ・ M300 ・ M400 寸法： ・ 厚さ： ・ 60 ・ 80	5. 屋上緑化 i 植栽基盤 [23. 5. 2]	・ (1) 屋上緑化システム 土壌層の厚さ： ・ ()
ii 材料 [22. 2. 3]	・ (1) 盛土材料の種類： ・ A種 ※B種 ・ C種 ・ D種 ・ (2) 凍上抑制層に用いる材料： () ・ (3) 路床安定処理用材料の種類： () ・ (4) ジオテキスタイル： ・ 適用する 品質 材料種 引張強さ 伸び率 質量 厚さ 透水係数 ・ 適用しない	・ (1) コンクリート平板の厚さ、厚さ： ※普通平板 種類： ・ N300 ・ N400 ・ N450 ・ N500 寸法： ・ 厚さ： ・ 30 ※ 60 ・ 80 ・ 透水性平板 種類： ・ P300 ・ P400 ・ P450 ・ P500 寸法： ・ 厚さ： ・ 60 ・ 80 ・ 保水性平板 種類： ・ M300 ・ M400 寸法： ・ 厚さ： ・ 60 ・ 80	ii 材料 [23. 5. 3]		
iii 試験 [22. 2. 5]	● (1) CBR試験： ● 適用する ・ 適用しない ● (2) 路床締固め度試験： ● 適用する ・ 適用しない ● (3) 現場CBR試験： ● 適用する ・ 適用しない	ii 材料 [22. 8. 3]	・ (2) インターロッキングブロック： 種類 形状 曲げ強度 (N/mm ²) 厚さ (mm) 寸法 表面加工 施工箇所 ※普通ブロック(N) ・ 長方形 ・ 3.0以上 ・ 60 ・ () ・ () ・ () ・ 正方形 ・ 六角形 ・ 八角形 ・ 多角形 ・ その他 ・ 5.0以上 ・ 60 ・ () ・ () ・ () ・ 透水性ブロック(P) ・ 長方形 ・ 3.0以上 ・ 60 ・ () ・ () ・ () ・ 正方形 ・ 六角形 ・ 八角形 ・ 多角形 ・ その他 ・ 5.0以上 ・ 60 ・ () ・ () ・ () ・ 保水性ブロック(M) ・ 長方形 ・ 3.0以上 ・ 60 ・ () ・ () ・ () ・ 正方形 ・ 六角形 ・ 八角形 ・ 多角形 ・ その他 ・ 5.0以上 ・ 60 ・ () ・ () ・ ()	iii 工法 [23. 5. 4]	・ (1) 風圧に対応した固定方法： ※ 図示 ・ (2) 支柱の設置及び形式： ※ 図示 ・ (3) 灌水装置の設置及び種類： ※ 図示
● 2. 路盤 i 路盤の構成及び仕上り [22. 3. 2]	・ 路盤の厚さ(mm)： ● アスファルト舗装： ・ 100 ・ 150 ・ 250 ・ 350 ● 図示 ・ カラー舗装： ・ 100 ・ 150 ・ 250 ・ 350 ・ コンクリート舗装： ・ 100 ※ 150 ・ ・ 透水性アスファルト舗装： ・ 100 ※ 150 ・ 250 ・ 保水性アスファルト舗装： ・ 100 ・ 150 ・ 250 ・ インターロッキングブロック舗装： ・ 100 ・ 150 ・ 250 ・ 転圧コンクリート舗装： ※ 150	ii 材料 [22. 8. 3]	・ (3) 舗石の石材： 種類 () 形状 () 寸法 ()		
ii 材料 [22. 3. 3]	● 路盤材料の種類、品質： ・ () [表22. 3. 2]	・ (1) 種類： 適路 ※ A種 ・ () 建物周囲その他 ※ B種 ・ ()	・ (4) ジオテキスタイル： ・ 適用する 品質 材料種 ※不織布 ・ () 引張強さ 伸び率 質量 厚さ 透水係数 ・ 適用しない	iii 工法 [23. 5. 4]	・ (1) 風圧に対応した固定方法： ※ 図示 ・ (2) 支柱の設置及び形式： ※ 図示 ・ (3) 灌水装置の設置及び種類： ※ 図示
● 3. アスファルト舗装 i 舗装の構成及び厚さ [22. 4. 2]	(1) 構成及び厚さ 部 位 舗装の厚さ (mm) 基 層 表 層 車道部 (基層なし) - 50 ・ () 車道部 (基層あり) ・ 50 ・ () ・ 30 ・ () 歩道部 - 30 ● (50)	8. 砂利敷き i 材料 [22. 9. 2]	・ (1) 種類： 適路 ※ A種 ・ () 建物周囲その他 ※ B種 ・ ()		
ii 材料 [22. 4. 3]	・ 再生アスファルトの種類： ・ 60~80 ・ 80~100	● (2) 車道部の基層の適用： ・ 適用する ・ 適用しない ● (3) 舗装の平坦性： ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ ()	・ (1) 種類： 適路 ※ A種 ・ () 建物周囲その他 ※ B種 ・ ()	iii 工法 [23. 5. 4]	・ (1) 風圧に対応した固定方法： ※ 図示 ・ (2) 支柱の設置及び形式： ※ 図示 ・ (3) 灌水装置の設置及び種類： ※ 図示
iii 配合その他 [22. 4. 4]	● 表層の加熱アスファルト混合物等の種類： ・ 密粒度アスファルト混合物(13) ・ 細粒度アスファルト混合物(13) ● 密粒度アスファルト混合物(13F)	● (2) 車道部の基層の適用： ・ 適用する ・ 適用しない ● (3) 舗装の平坦性： ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ ()	・ (1) 種類： 適路 ※ A種 ・ () 建物周囲その他 ※ B種 ・ ()		
iv 試験 [22. 4. 6]	● アスファルト混合物等の抽出試験の適用： ● 適用する ・ 適用しない	● (2) 車道部の基層の適用： ・ 適用する ・ 適用しない ● (3) 舗装の平坦性： ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ ()	・ (1) 種類： 適路 ※ A種 ・ () 建物周囲その他 ※ B種 ・ ()	iii 工法 [23. 5. 4]	・ (1) 風圧に対応した固定方法： ※ 図示 ・ (2) 支柱の設置及び形式： ※ 図示 ・ (3) 灌水装置の設置及び種類： ※ 図示
4. コンクリート舗装 i 舗装の構成及び仕上り [22. 5. 2]	・ (1) 構成及び厚さ： ・ コンクリート舗装： 歩行者通路 ※ 70 ・ () 車道部 () ・ (2) 舗装の平坦性： ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ ()	● (2) 車道部の基層の適用： ・ 適用する ・ 適用しない ● (3) 舗装の平坦性： ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ ()	・ (1) 種類： 適路 ※ A種 ・ () 建物周囲その他 ※ B種 ・ ()		
ii 材料 [22. 5. 3]	・ (1) コンクリート材料： ・ () ・ 普通コンクリート 部位 設計基準強度 (N/mm ²) 所要スランプ (cm) 粗骨材の最大寸法 (mm) 車道部 ※24 ※8 ・ 砂利： 25又は40 ・ 砕石： 20又は25 歩行者用通路 ※18 ※8 ・ 砂利： 25 ・ () ・ () ・ ()	● (2) 車道部の基層の適用： ・ 適用する ・ 適用しない ● (3) 舗装の平坦性： ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ ()	・ (1) 種類： 適路 ※ A種 ・ () 建物周囲その他 ※ B種 ・ ()	iii 工法 [23. 5. 4]	・ (1) 風圧に対応した固定方法： ※ 図示 ・ (2) 支柱の設置及び形式： ※ 図示 ・ (3) 灌水装置の設置及び種類： ※ 図示
iii 施工 [22. 5. 4]	・ (2) 早強セメントの使用： ・ 使用する ・ 使用しない ・ (3) 注入目地材の種類： ※低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ ・ 目地 部 位 目地の種類 目地の間隔 駐車場 縦方向 ※ 突合せ目地 ・ () ※ 5m程度ごと ・ () 横方向 ※ 収縮目地 ・ () ※ 3m程度ごと ・ () 車道部 縦方向 ※ 突合せ目地 ・ () ※ 3m程度ごと ・ () 横方向 ※ 収縮目地 ・ () ※ 4m程度ごと ・ () 歩行者用通路 縦方向 ※ 突合せ目地 ・ () 横方向 ※ 収縮目地 ・ () 舗装内の柵の周囲 ※ 突合せ目地 ・ () 建築物、構造物との取合い ※ 収縮調整目地 ・ ()	● (2) 車道部の基層の適用： ・ 適用する ・ 適用しない ● (3) 舗装の平坦性： ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ ()	・ (1) 種類： 適路 ※ A種 ・ () 建物周囲その他 ※ B種 ・ ()		
5. カラー舗装 i 舗装の構成及び仕上り [22. 6. 2]	・ (1) カラー舗装の種類 ・ 加熱系 ・ 常温系 ・ (2) 加熱系カラー舗装 構成 () 厚さ () ・ (3) 加熱系混合物の結合材 ・ 7A7B系混合物 ・ 石油樹脂系混合物 ・ (4) 舗装の平坦性： ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ () ・ (5) 常温カラー舗装の工法 ・ () ・ (6) 常温系カラー舗装の着色部下部 ・ アスファルト舗装 ・ コンクリート舗装	● (2) 車道部の基層の適用： ・ 適用する ・ 適用しない ● (3) 舗装の平坦性： ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ ()	・ (1) 種類： 適路 ※ A種 ・ () 建物周囲その他 ※ B種 ・ ()	iii 工法 [23. 5. 4]	・ (1) 風圧に対応した固定方法： ※ 図示 ・ (2) 支柱の設置及び形式： ※ 図示 ・ (3) 灌水装置の設置及び種類： ※ 図示
● 1. 一般事項 i 植栽地の確認等 [23. 1. 3]	● 水素イオン濃度指数 (pH) の試験： ・ 行う ● 行わない ● 電気伝導度 (EC) の試験 ・ 行う ● 行わない	● (2) 車道部の基層の適用： ・ 適用する ・ 適用しない ● (3) 舗装の平坦性： ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ ()	・ (1) 種類： 適路 ※ A種 ・ () 建物周囲その他 ※ B種 ・ ()		
● 2. 植栽基盤 i 植栽基盤一般 [23. 2. 2]	● (1) 植栽基盤整備工法の適用： ● 適用する ・ 適用しない ● (2) 有効土層の面積及び厚さ： 樹木 樹高 (m) 12以上 7以上~12 3以上~7 3未満 芝 地被類 有効土層の面積 (m ²) ・ () ・ () ・ () ・ () 有効土層 (cm) ※100 ※80 ※60 ※50 ※20 ・ () ・ () ・ () ・ ()	● (2) 車道部の基層の適用： ・ 適用する ・ 適用しない ● (3) 舗装の平坦性： ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ ()	・ (1) 種類： 適路 ※ A種 ・ () 建物周囲その他 ※ B種 ・ ()	iii 工法 [23. 5. 4]	・ (1) 風圧に対応した固定方法： ※ 図示 ・ (2) 支柱の設置及び形式： ※ 図示 ・ (3) 灌水装置の設置及び種類： ※ 図示
ii 材料 [23. 2. 3]	・ (3) 設置する排水層等： ・ 暗きよ ・ 開きよ ・ 排水層 ・ 縦穴排水 ● (4) 植栽基盤整備工法の種類： A. 樹木： ※ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 B. 芝及び地被類： ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 ● (5) 土壌改良材の適用： ● 適用する ・ 適用しない	● (2) 車道部の基層の適用： ・ 適用する ・ 適用しない ● (3) 舗装の平坦性： ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ ()	・ (1) 種類： 適路 ※ A種 ・ () 建物周囲その他 ※ B種 ・ ()		
iii 工法 [23. 2. 4]	● (1) 植込み用土： ・ 現場発生の良質土 ● 客土 ● (2) 土壌改良材： ※有害なものが混入していないバーク堆肥 又は発酵下水汚泥コンポスト ・ ()	● (2) 車道部の基層の適用： ・ 適用する ・ 適用しない ● (3) 舗装の平坦性： ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ ()	・ (1) 種類： 適路 ※ A種 ・ () 建物周囲その他 ※ B種 ・ ()	iii 工法 [23. 5. 4]	・ (1) 風圧に対応した固定方法： ※ 図示 ・ (2) 支柱の設置及び形式： ※ 図示 ・ (3) 灌水装置の設置及び種類： ※ 図示
● 3. 植樹 i 材料 [23. 3. 2]	● (1) 樹木の樹種、寸法、株立数及び刈り込みものの適用並びに数量： ※図示 ・ () ● (2) 支柱材： ※丸太 ・ 竹 ● (3) 丸太の防腐処理方法： ※加圧防腐処理 ・ () ● (4) 幹巻き用材料： ※幹巻きテープ ・ わら ・ こも	● (2) 車道部の基層の適用： ・ 適用する ・ 適用しない ● (3) 舗装の平坦性： ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ ()	・ (1) 種類： 適路 ※ A種 ・ () 建物周囲その他 ※ B種 ・ ()		
ii 新植の工法 [23. 3. 3]	● (1) 土壌改良材の指定量： ● (50)L/m ² ・ ()kg/m ² ・ 客土量の ()%	● (2) 車道部の基層の適用： ・ 適用する ・ 適用しない ● (3) 舗装の平坦性： ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ ()	・ (1) 種類： 適路 ※ A種 ・ () 建物周囲その他 ※ B種 ・ ()	iii 工法 [23. 5. 4]	・ (1) 風圧に対応した固定方法： ※ 図示 ・ (2) 支柱の設置及び形式： ※ 図示 ・ (3) 灌水装置の設置及び種類： ※ 図示
iii 新植樹木の枯補償 [23. 3. 4]	・ 新植樹木の枯補償期間： ※引き渡しの日から1年間 ・ ()	● (2) 車道部の基層の適用： ・ 適用する ・ 適用しない ● (3) 舗装の平坦性： ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ ()	・ (1) 種類： 適路 ※ A種 ・ () 建物周囲その他 ※ B種 ・ ()		
iv 移植樹木の枯損処置 [23. 3. 6]	・ 移植樹木の枯損処置期間： ※引き渡しの日から1年間 ・ ()	● (2) 車道部の基層の適用： ・ 適用する ・ 適用しない ● (3) 舗装の平坦性： ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ ()	・ (1) 種類： 適路 ※ A種 ・ () 建物周囲その他 ※ B種 ・ ()	iii 工法 [23. 5. 4]	・ (1) 風圧に対応した固定方法： ※ 図示 ・ (2) 支柱の設置及び形式： ※ 図示 ・ (3) 灌水装置の設置及び種類： ※ 図示

凡例	工事名称	岩手県立盛岡地区統合新設校体育館新築(建築)工事			種別	A-008
	図面名	特記仕様書 (8)			通し番号	
	作成日	2024. 03	階尺	-		

岩手県盛岡地区統合新設校体育館敷地測量業務 現況実測平面図
紫波郡矢巾町大字南矢幅第9地割 地内



求積表

地番	284	Xn	Yn	Yn+1-Yn-1	Xn - (Yn+1-Yn-1)
K450	-4397.099	27879.215	-51.562	2237641.218638	
K397	-4394.642	27879.284	1.760	-76374.569920	
K359	-4336.806	27880.975	51.680	-2239446.134980	
K231	-4238.818	27930.864	51.966	-2253391.494895	
K232	-4340.839	27932.970	-0.023	996.839297	
K74	-4396.522	27930.941	-2.124	92174.212728	
K75	-4398.972	27930.846	-51.728	2244855.225672	
合計				6355.297420	
合計面積				3127.6487150	
地積				3127.64	㎡

地番	285-1	Xn	Yn	Yn+1-Yn-1	Xn - (Yn+1-Yn-1)
K386	-43464.275	27877.190	-47.890	2081504.129750	
K450	-4397.099	27879.215	53.656	-2228514.742944	
K75	-4338.972	27930.846	49.337	-2141175.081544	
O89	-43462.115	27928.552	-2.861	124345.111015	
K109	-43465.160	27927.985	-1.447	62894.086520	
K108	-43465.962	27927.105	-50.795	2207853.539790	
合計				6097.041567	
合計面積				3463.5207935	
地積				3463.52	㎡

今回申請敷地: 284, 285-1 敷地面積: 6581.16㎡

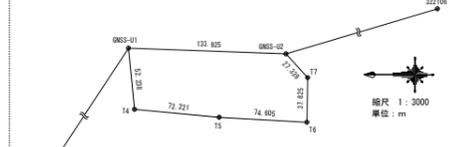
地番	519	Xn	Yn	Yn+1-Yn-1	Xn - (Yn+1-Yn-1)
KX573	-43336.661	27876.967	-1.817	78742.713037	
K380	-43468.121	27873.063	43.810	-1904338.381010	
KX576	-43469.749	27920.777	47.674	-2072376.813824	
K107	-43471.881	27920.737	-3.037	129204.041831	
K119	-43472.226	27917.740	-49.842	2166742.688292	
K514	-43470.658	27870.895	-42.860	1863152.401880	
KX571	-43336.585	27874.880	5.072	-263139.744120	
合計				806.906110	
合計面積				403.4530550	
地積				403.45	㎡

地番	520	Xn	Yn	Yn+1-Yn-1	Xn - (Yn+1-Yn-1)
KX569	-43336.806	27880.975	2.317	-100411.379502	
K397	-43394.642	27879.284	-1.760	76374.569920	
K450	-43397.099	27879.215	-2.094	60973.525204	
K386	-43464.275	27877.190	47.890	-2081504.129750	
K108	-43465.962	27927.105	43.547	-1892812.247214	
K107	-43471.881	27920.737	-6.328	275089.936408	
KX576	-43469.749	27920.777	-47.674	2072376.813824	
K380	-43468.121	27873.063	-43.810	1904338.381010	
KX573	-43336.661	27876.967	7.912	-342879.661832	
合計				1445.808172	
合計面積				722.9048860	
地積				722.90	㎡

総合計面積 7707.5266395 ㎡
登記記録地積 合計 7704㎡ +3㎡

世界測地系 (測地成果2011) 座標系 X系
一筆地測量年月日 令和5年8月28日~9月9日

基準点網図



「世界測地系 (測地成果2011) 座標系 X系」
基本三角点等の名称及び座標値

1級登記基準点	X座標	Y座標
322105	-42219.411	26247.271
322106	-45049.058	26398.614

3級基準点	X座標	Y座標
GNS-U1	-43231.019	27933.412
GNS-U2	-43464.858	27928.628

測量年月日 令和5年8月29日

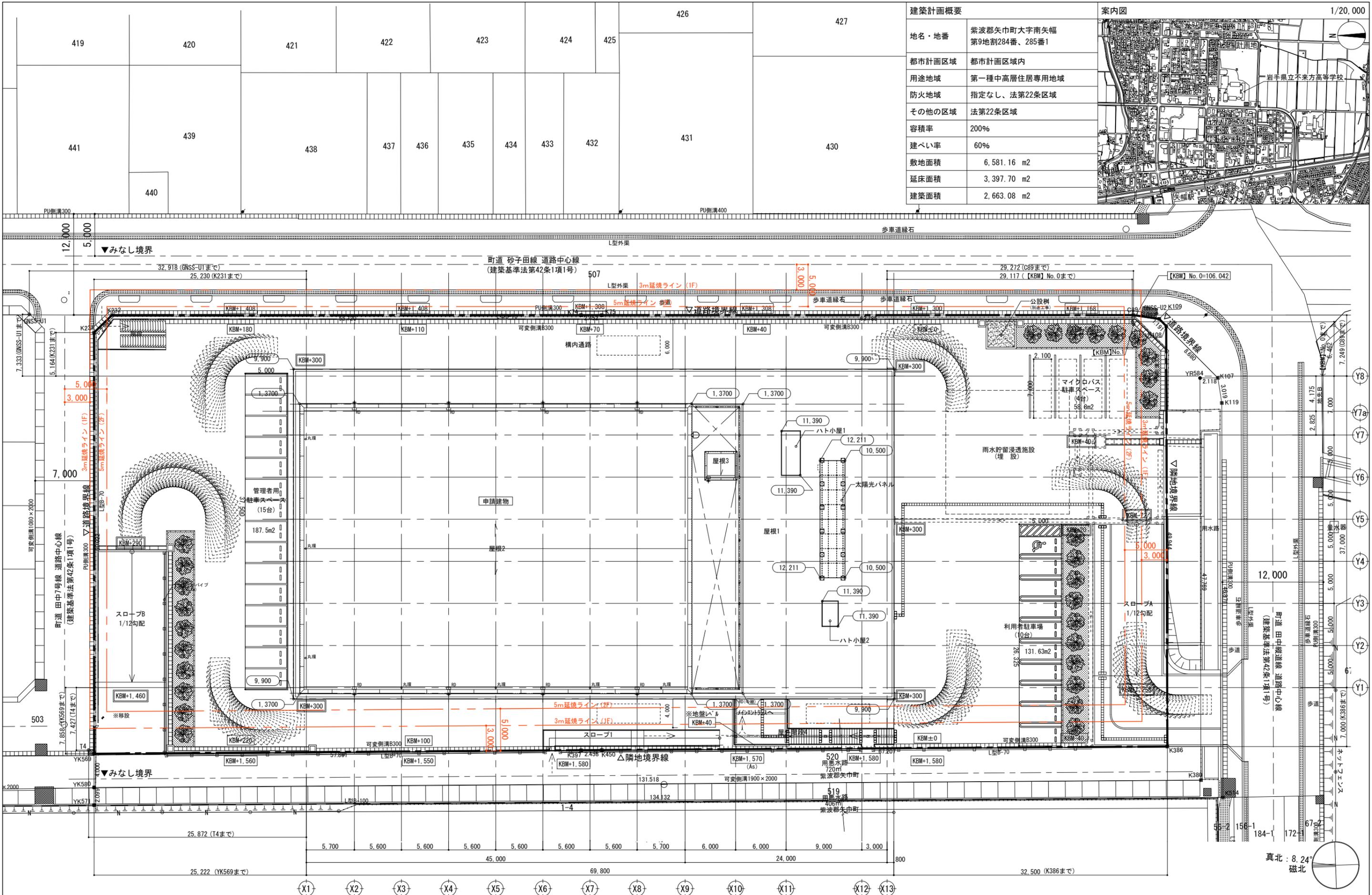
4級基準点	X座標	Y座標
14	-43336.172	27881.428
15	-43408.080	27874.710
16	-43482.573	27870.583
17	-43483.248	27908.403

測量年月日 令和5年9月4日

境界点	境界線の種類
田	コンクリート杭
◎	金属杭
□	金属プレート杭
○	新印
◎	プラスチック杭
●	基準点
●	復元点

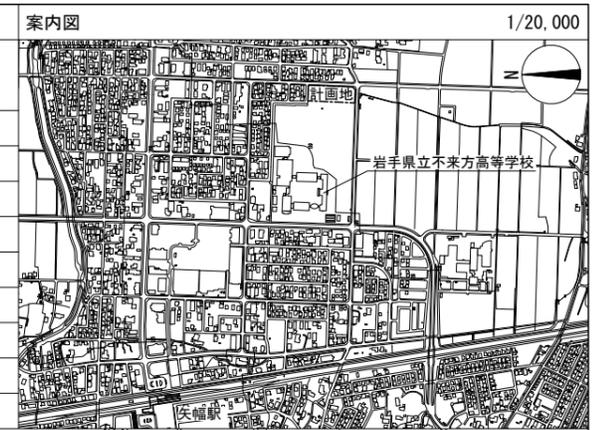
所在	紫波郡矢巾町大字南矢幅第9地割
所有者	紫波郡矢巾町
縮尺	1:300
座標系	X
分類	地図 (法第14条第1項)
種類	土地区画整理 所在図
作成年月日	令和5年9月8日
作成者	岩手県花巻市材木町28番7号 土地家屋調査士 上田直輝
印	

凡例	[KBM] No. 0: X -43461.932, Y 27927.771	工事名称	岩手県立盛岡地区統合新設校体育館新築 (建築) 工事	種別	A-010
	[KBM] No. 1: X -43462.095, Y 27927.453		図面名		敷地現況図・敷地求積図
		作成日	2024. 03	縮尺	1/300 (A1) 1/600 (A3)



建築計画概要

地名・地番	紫波郡矢巾町大字南矢幅 第9地割284番、285番1
都市計画区域	都市計画区域内
用途地域	第一種中高層住居専用地域
防火地域	指定なし、法第22条区域
その他の区域	法第22条区域
容積率	200%
建ぺい率	60%
敷地面積	6,581.16 m ²
延床面積	3,397.70 m ²
建築面積	2,663.08 m ²



1/20,000

凡例	敷地	測点	X座標	Y座標	Z座標	標高	凡例	---: 敷地境界線	---: 施設利用者動線(歩行者)	・外構計画は外構図を正とする ・車両の軌跡は水槽付ポンプ自動車(幅2,300×長さ7,250)程度を想定
	[KBM] No.0	-43461.932	27927.771	106.042	-	-	---: 延焼のおそれのある部分	---: 車庫動線		
	[KBM] No.1	-43462.095	27927.453	106.044	金属版	○: 現況地盤レベル(KBM±0からの数値)	○: 計画地盤レベル(KBM±0からの数値)			
	GNSS-U1	-43331.015	27933.412	107.464	金属版	○: 平均地盤面からの建物高さ(平均地盤面-KBM±300=106.342)				
T4	-43336.172	27881.429	107.539	金属版						

工事名称: 岩手県立盛岡地区統合新設校体育館新築(建築)工事

図面名称: 案内図・配置図

作成日: 2024.03

縮尺: 1/200(A1), 1/400(A3)

図例: A-011

一般共通事項				外部仕上げ表								
地 下	<p>1. GLより低い位置のコンクリート打継ぎ箇所には止水板6×200か止水ゴム10×20を打ち込む。</p> <p>2. 土に接する部分と水槽部分の壁は丸セバ止水型を用い、無収縮モルタルを充填する。</p> <p>3. 地中梁点検口(人通孔)はφ600とし、通気孔は75A×2硬質塩ビ管とする。</p> <p>4. 人通孔上部にはつかまり棒として、SUSφ22を打ち込む。また、人通孔下端から床まで600以上の場合、φ300にSUSφ22タラップを打ち込む。</p>	内 装	<p>1. 内装材及び天井裏等に使用する建材、接着剤等は全て規制対象外、又は☆☆☆☆の製品を使用する。</p> <p>2. ホルムアルデヒド及び総揮発性有機化合物を含む接着剤・建材は、原則使用しない。 ※「ホルムアルデヒド規制値 及び ガイドライン値CECA」 「VOCガイドライン値(HH0)」に準ずる。</p> <p>3. 内装材の仕様は、特記なき限り不燃の製品を使用する。</p> <p>4. 床仕上げについては、割付の検討を行い監理者の確認を得る。</p> <p>5. 床仕上げ材の異なる箇所の見切り、くづり(エアタイト等は除く)は、特記なき限りSUS304 F8-6×12HLとする。</p> <p>6. ビニル床シートは、特記なき限り熱溶接工法とする。</p> <p>7. フリーアクセスフロアのパネルは、全てコンセント取り出し穴加工済み、蓋付とする。</p> <p>8. フリーアクセスフロア内部床は、特記無き限り防塵塗装を施す。</p> <p>9. PS、EPS、DS等の床は、特記無き限り防塵塗装を施す。</p> <p>10. ユニットバス、ユニットシャワー、ユニットトイレを設置する床下地は防塵塗装とする。</p> <p>11. SUS巾木は特記なき限りt=1.5 HLとする。</p> <p>12. 壁ボード張りの下地 (RC、CB、LGS、W等)が異なる取合い部分は伸縮調整目地を設ける。また、入り隅部分及び開口部両サイド上部も伸縮調整目地を設ける。</p> <p>ただし、耐火壁は増し貼りに目地を設ける。目地材は入り隅部分を除き塩ビ製ハット型ジョイナーとする。</p> <p>13. 廊下等大壁面のボード張りは、同一下地であっても伸縮調整目地を設ける (縦継@3,000程度)。</p> <p>ただし耐火壁は増し貼りに目地を設ける。</p> <p>異種材は塩ビ製ハット型ジョイナーとする。</p> <p>14. 異種材料取合い部 (コンクリートとボード、鉄骨とボード等)は目地を設けシーリングを施す。</p> <p>15. 防火上主要な乾式間仕切壁が上下階と接する部分には耐火シール(認定品)を施す。</p> <p>16. 機械室関係諸室の内側(壁・柱・梁型、スラブ底)にはt=25グラスウールガラスクロス貼りを施す。</p> <p>17. グラスウールマットはガラス繊維布でくるみ塩ビアンカー押えとする。</p> <p>18. 天井ケイ酸カルシウム板は、特記なき限りVカット突きつけとする。</p> <p>19. 天井廻縁は特記なき限り、塩ビ製天井見切り型とする。</p> <p>20. 天井木製廻縁は特記なき限り、スプルーヌとする。</p> <p>20-1白漆か七貼りは、一目地底をテープ貼サーハコを表面両色塗装もしくは両材巻き込みとする。</p> <p>21-照明ボックスには、防虫網付網抜き孔を適宜設ける。</p> <p>22. 露出している鉄部は、特記なき限りSOPとする。</p> <p>23-壁壁は、白ガス管防露巻きと、連続ぎ手部分は清水検査を行う。</p> <p>24. 木の仕上は特記なき限りOLとする。</p> <p>25. 石綿、クローリビロスは使用しない。</p>	項 目	<p>体育館</p> <p>屋根1</p> <p>・コンクリート(金ゴテ) + 硬質ウレタンフォーム保温板2種1 t=50 + シート防水</p> <p>屋根2</p> <p>・デッキプレート + 硬質ウレタンフォーム保温板2種1 t=50 + シート防水</p> <p>屋根3</p> <p>・コンクリート(金ゴテ) + 硬質ウレタンフォーム保温板2種1 t=50 + シート防水</p> <p>屋根4</p> <p>・コンクリート(金ゴテ) + 硬質ウレタンフォーム保温板2種1 t=50 + シート防水</p> <p>笠木1</p> <p>・アルミ製既製品 t=2.0 (押出型材) W450</p> <p>笠木2</p> <p>・アルミ製既製品 t=2.0 (押出型材) W200</p> <p>笠木3①~⑤</p> <p>・アルミ製既製品 t=2.0 (押出型材) ①W650、②W800、③W750、④W1250、⑤W1070</p> <p>外壁1、柱</p> <p>・コンクリート化粧打ち放し仕上(A種) ※カラークリア仕上</p> <p>外壁1 (リ付付)</p> <p>・コンクリート化粧打ち放し仕上(A種) ※化粧型枠 下見板風 H150 + コンクリート保護塗装(A) ※カラークリア仕上</p> <p>外壁2</p> <p>・コンクリート化粧打ち放し仕上(A種) + コンクリート保護塗装(B) ※クリア仕上</p> <p>外壁3</p> <p>・押出成形セメント板 W900 ヨコ張り (t=60) + コンクリート保護塗装(B) ※クリア仕上</p> <p>外壁4</p> <p>・押出成形セメント板 W900 タテ張り (t=60) + コンクリート保護塗装(B) ※クリア仕上</p> <p>外部建具1</p> <p>・アルミサッシュ + 二次電解着色</p> <p>外部建具2</p> <p>・アルミガラリ + 二次電解着色</p> <p>外部建具3</p> <p>・スチールドア + DP</p> <p>軒天(A)</p> <p>・FK t=8.0 + DP</p> <p>軒天(B)</p> <p>・コンクリート化粧打ち放し仕上(B種) + 増し打ち t20 + 補修 +コンクリート保護塗装(B) + ※クリア仕上(梁下裏部分)</p> <p>ルーフドレイン</p> <p>丸 環</p> <p>・SUS製19φ (既製品) 打込み@3,000以内 打込み箇所: 屋根2×7箇所</p> <p>タラップ</p> <p>・SUS製 (既製品) 背カゴ付</p> <p>消音ルーバー</p> <p>・消音ルーバー (ヨコ) アルミニウム合金押出型材+グラスウール H4, 200@200</p> <p>種1</p> <p>・アルミタテ種 125□ バンドレスタイプ 角型</p> <p>種2</p> <p>・アルミタテ種 100φ バンドレスタイプ 丸型</p> <p>種3</p> <p>・アルミタテ種 75□ バンドレスタイプ 角型</p> <p>定 礎</p> <p>・SUS製 t=4.0 600×400 HL</p> <p>EXP. J</p> <p>・アルミ製 (既製品) ※耐火帯付</p>	項 目	<p>機械基礎</p> <p>・コンクリート(金ゴテ) + ウレタンゴム系塗膜防水 (X-2)</p> <p>屋外階段 1</p> <p>・ 踏面: モルタル(金ゴテ) + VS (ノンスリップ外部用)</p> <p>・ 蹴上・排水溝・壁: モルタル(金ゴテ) + ウレタンゴム系塗膜防水 (X-2)</p> <p>・ 段鼻: ノンスリップ (SUS製)</p> <p>屋外階段 2</p> <p>・ 踏面・床: コンクリート化粧打ち放し仕上(A種) + 表面硬化剤仕上げ(防滑仕様)</p> <p>・ 段鼻: 滑り止め溝</p> <p>スロープ 2</p> <p>・ 床: コンクリート化粧打ち放し仕上(A種) + 表面硬化剤仕上げ(防滑仕様)</p> <p>屋外階段 3</p> <p>・ 踏面・床: コンクリート化粧打ち放し仕上(A種) + 表面硬化剤仕上げ(防滑仕様)</p> <p>・ 段鼻: 滑り止め溝</p> <p>屋外階段 4</p> <p>・ 踏面・床: 再生木デッキ t30</p> <p>・ ササrah付: St-PL-12×300 ※仕上げは全て溶融亜鉛メッキリン酸処理とする</p> <p>スロープ 1</p> <p>・ 床: コンクリート化粧打ち放し仕上(A種) + 表面硬化剤仕上げ(防滑仕様)</p> <p>・ 立上り・排水溝: モルタル(金ゴテ) + ウレタンゴム系塗膜防水 (X-2)</p> <p>誘導ブロック 1 (視覚障害者誘導用ブロック)</p> <p>・磁器質タイル同材品 ※主に外部</p> <p>誘導ブロック 2</p> <p>・SUS製既製品 ※主に室内</p> <p>誘導ブロック 3 (視覚障害者誘導用ブロック)</p> <p>・インターロッキングブロック</p> <p>ポルダリングウォールスペース</p> <p>ポルダリングウォール</p> <p>管理用フェンス</p> <p>・ポルダリング仕切りフェンス L4, 600xH2, 500(2ヶ所): パネル 採光パネル、支柱 埋込ベースプレート止め、L2, 410xH2, 500<ぐり戸門扉(片開き)、W1, 140xH2, 000 + 上部パネルH500: パネル 採光パネル、門扉 回転盤、市中埋込ベースプレート止め</p> <p>床</p> <p>・安全マット H=300 設置 (可動式)</p> <p>ハト小屋</p> <p>・コンクリート(金ゴテ) + ウレタンゴム系塗膜防水 (X-2)</p> <p>・コンクリート化粧打ち放し(A種) + コンクリート保護塗装(A) クリア仕上</p> <p>※共通</p> <p>・吹付け硬質ウレタンフォームA種1H t=50 (屋根・壁共)</p> <p>外 構</p> <p>車路・駐車場等</p> <p>・アスファルト舗装</p> <p>ピロティ</p> <p>・コンクリート(金ゴテ) + 表面硬化剤仕上げ(防滑仕様)</p> <p>植 栽</p> <p>・高木4.0m程度</p>					
								断 熱	<p>1. 外気に接する壁の内側には、吹付け硬質ウレタンフォームA種1H t=50を施す。</p> <p>2. 外気に接するサッシ廻りは無収縮モルタル充填の上、吹付け硬質ウレタンフォームA種1 t=50を施す。</p> <p>3. 外気に接するスラブのインサート・天井吊りボルト等の部分は、スラブ厚2倍の長さで吹付け硬質ウレタンフォームA種1を施す。</p> <p>4. 外部に断熱材を施していない屋根スラブの室側には、吹付け硬質ウレタンフォームA種1H t=50を施す。</p> <p>5. 外気に接する金属パネルは全てグライト断熱材t=4.0を施す。</p> <p>6. 直接土に接する室の床スラブ下面には、ポリエチレンフィルムシートt=0.15 (重幅300以上) 敷込みの上、A種硬質ウレタンフォーム保温板2種1号 t=50を敷込む。(耐圧盤、ピット底盤は除く)</p> <p>7. ビットを有する室の床スラブ下面にはA種硬質ウレタンフォーム保温板2種1号 t=25を打込む。(耐圧盤、ピット底盤は除く)</p>	建 具	<p>1. 「建具共通事項」による。</p> <p>(1) ドアチェックは室側設置を基本とする。</p> <p>(2) 外部サッシ水切の出は壁面より20mmとし、両サイドに水返しを設け壁面の汚れ防止仕様とする。</p> <p>(3) 外部に面するガラリは防鳥ネット付(SUS製)とし、ダクト受けアングル(断熱材吹付け)まで建築工事とする。</p> <p>(4) アルミ製建具廻りのシーリングは2重シールとする。</p>	外 装
下 地	<p>1. 張り物(フローリングボード、ビニル床シート、カーペット等)の床下地は、特記なき限りコンクリート直均とし、10mm増打ちとする。</p> <p>2. 壁・天井面仕上げ(塗装・クロス等)の下地については、特記なき限り下記による。</p> <p>A. コンクリート下地表面は、打放し仕上げB種とする。</p> <p>B. 亀裂誘発目地を設ける場合は既製目地材6mm以上を用い、縦目地は@3000以内及び建具両脇とし、横目地は階高毎とする。</p> <p>C. 乾式下地タイル壁、流し台廻り等、けい酸カルシウム板・シージング石膏ボードを使用する箇所は、耐火壁は増貼り、それ以外は表面石膏ボードを読み替える。</p> <p>D. ボードの目地工法(継ぎ目処理)は、テーパーエッジ継目処理工法とする。</p> <p>3. 手摺等取付け箇所を下地がLGSの場合、必要に応じてスチール補強t=1.6プレート (300×500程度)を施す。</p> <p>4. 床組下地、壁下地の木材には防虫処理を施す。</p> <p>5. 建具裏面(防火区画の耐火ボード、背面ボード等)はガラスの熱割れ、内部結露の防止を考慮した納まり(熱抜き孔を適宜設ける等)とする。</p>	点検口	<p>1. 天井点検口は特記なき限りアルミ既製品 (450×450目地タイプ)とし、表面仕上げ材は天井と同様とする。表面に目的表示、裏面には使用目的を記入する。</p> <p>2-システム天井の点検口は、φ900@1ヶ所を基本とする。</p> <p>3. 化粧点検口は、特記なき限りSUS製規格品 (600×600)とし、表面仕上げ材は床と同様とする。蓋下にはSUSタラップを設ける。</p> <p>4. 床点検口は、特記なき限り鋼鉄製防水防臭型マンホール (水槽名文字記入、施設装置付)とし、蓋下にはSUSタラップを設ける。</p> <p>5. 二重床部分 (RCスラブ下地インターロッキングブロック舗装等)に設ける床下点検口のマンホール上部には特記なき限り、床仕上げ材貼用アルミ既製品800×800程度の点検口を設ける。</p> <p>6. タラップはSUS規格品@300で、最下段は底部から+500程度とする。</p>	その他	<p>1. シーリングの寸法は特記なき限り、20×10とする。</p> <p>2. パラペット及び内部と取合う外壁立上り部は、H=300以上をスラブと一体でコンクリート打設する。</p> <p>3. 外装、特殊工法(性能発注)については技術委員会を設けて、専門知識を持つ責任者(外部を含め)を定め、施工者の責任においてまとめる。技術委員会の設置が必要な項目は監理方針説明会で提示する他、施工者が自主的に行う。</p> <p>4. 外装カーテンウォール・外装ルーバー等については、予想される風圧力、変形、外気温の変化などによる変形及び摩擦音等の発生が構造耐力上、起こらないものとする。</p> <p>5-外部に面した出入口の前扉には長さ(開口巾×200)のSUSグレーチング側溝(H=100)を設ける。</p> <p>6. エキスパンションジョイントには、耐火性能に応じた耐火帯を設ける。</p> <p>7. EPS及PS・DSを構成する壁はスラブまで立ち上げるものとする。</p> <p>8. 造作家具等の扉が壁面等と取り合う箇所には、戸当り(衝撃防止ゴム)を設ける。</p> <p>9-駐車場内は、カーブモラー(SUS製600φ、壁付・取付ブラケット共)を設置する。</p> <p>10. 外部に露出するアンカーボルトには、塩ビキャップ(防水用)を施す。</p> <p>11. 吊りボルトのインサートは打ち込みとし、あと施工アンカーは原則禁止とする。</p>	耐火種別	耐火建築物					
略記号・防火材料認定番号リスト				耐火・遮音認定番号リスト								
略記号	表示事項	防火材料認定番号	略記号	表示事項	防火材料認定番号	略記号	表示事項	防火材料認定番号	使用材料	認定番号		
床・壁・天井	RC()	コンクリート()内は打放し種別A・B・C	JJ工法	せっこうボード(テーパー付)の縦目処理工法		GW-G	グラスウールガラスクロス張り	NM-8606, NM-8610	溶融亜鉛メッキ鋼板(デッキプレート): 屋根2	30分耐火	FP030RF-0019-1	
	M	モルタル	GL工法	せっこうボードのせっこうによる直張り工法		GB-H	硬質せっこうボード	NM-9645				
	CB	コンクリートブロック積み	GB-R	せっこうボード	t=9.5 QM-9828	カラ-	メラミン化粧板	NM-2183, NM-3846	吹付けロックウール被覆 t=25: 鉄骨梁	1時間耐火	FP060BM-9408	
	ALC	軽量気泡コンクリートパネル			t=12.5, 15.0 NM-8612, NM-8619		塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板	NM-8697	吹付けロックウール被覆 t=25: 鉄骨柱	1時間耐火	FP060CN-9460	
	ECP	押出成形セメント板	GB-NC	不燃積層せっこうボード(化粧無し: 下地張り用)	NM-0441, NM-0296, NM-8613			NM-1262				
	S	鉄骨	GB-NC(T)	化粧不燃積層せっこうボード(トラバーチン模様)	NM-0441			NM-1262				
	LGS	軽量鉄骨	GB-D	化粧せっこうボード	NM-8614, QM-9824			NM-3887	GB-F t=12.5 + GB-F t=12.5 (両面): 防火区画	1時間耐火	FP060NP-0174	
	W	木(木製)	GB-D(W)	化粧せっこうボード(木目)	NM-0127			NM-4125				
	SUS	ステンレス	GB-S	シージングせっこうボード	t=9.5, 12.5 QM-9826		SOP	合成樹脂調合ペイント塗り				
	PB	パーティクルボード			t=12.5 NM-9346		EP	合成樹脂エマルションペイント塗り	NM-8585 不燃材料	押出成形セメント板 t=60 (タテ張)	1時間耐火	FP060NE-9035
	SL	セルフレベリング	GB-F	強化せっこうボード	NM-8615		EP-T	合成樹脂エマルションペイント模様塗料塗り				
	FF	フリーアクセスフロアー	GB-P	吸音用あなきせっこうボード	QM-9827		EP-G	つや有合成樹脂エマルションペイント塗り	NM-8585 不燃材料	押出成形セメント板 t=60 (ヨコ張)	1時間耐火	FP060NE-9036
VS(A)	ビニル床シート	GB-L	せっこうラスボード	NM-8617		EP-M	多彩模様塗料塗り					
VS(B)	ビニル床シート(抗菌)	FK	無石綿セメントけい酸カルシウム板	t=8.0 NM-8578		AE	アクリル樹脂エナメル塗り					
VS(C)	ビニル床シート(長尺弾性塩ビシート)	FK-D	化粧無石綿セメントけい酸カルシウム板(比重1.0)	NM-1453, NM-3468, NM-3614,		FE	フタル酸樹脂エナメル塗り					
VT	ビニル床タイル(半硬質)			NM-2439		2-FUE	常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗り					
VTS	ビニル床タイル(軟質)					2-UE	2液形ポリウレタンエナメル塗り					
VT(E)	耐電防止ビニル床タイル					2-ASE	アクリルシリコン樹脂エナメル塗り					
HT	ホモジニアス系ビニル床タイル	FK-DK	抗菌性化粧無石綿セメントけい酸カルシウム板			CL	クリヤッカー塗り					
TCP(A)	タイルカーベット	FK-DW	天然木練付化粧無石綿セメントけい酸カルシウム板			UC	ウレタン樹脂ニス塗り					
TCP(B)	タイルカーベット	FK-F	繊維強化無石綿セメントけい酸カルシウム板			OS	オイルステイン塗り					
TCP(C)	タイルカーベット	FK-P	吸音用穴あき無石綿セメントけい酸カルシウム板			AC	アクリル樹脂ワニス塗り(アクリル樹脂クリヤー塗り)					
D(U)	弾性ウレタン塗り床材	HW	硬質木毛セメント板			NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り					
D(E)	エポキシ樹脂塗り床材	FC	塩ビシート			XE	2液型エポキシエナメル塗り					
		FC(D)	塩化ビニル樹脂フィルム張り	金属板 NM-0095		PU	ポリウレタン塗り					
		KC	クロス(織物)	金属板以外 NM-0131		LE	ラッカーエナメル塗り					
		VC	ビニルクロス	NM-9750~9841 (金属板を除く)		A(BE)	アクリルエナメル塗料(焼付)					
				NM-9888~9954(金属板、不燃せっこうボードを除く)		X(BE)	エポキシ系塗料(焼付)					
		GC	ベンキ下地用ガラスクロス	NM-0223		F(BE)	ふっ素樹脂塗料(焼付)					
		DR	ロックウール化粧吸音板(フラットタイプ)	NM-8599		WP	木材保護塗料塗り					
						WP(外部)	木材保護塗料塗り(外部用)					
		UF	吹付け硬質ウレタンフォーム	NM-5333(RC)、NM-5334(ECP)		DP	耐候性塗料塗り					
		RW-G	ロックウールガラスクロス張り			保護塗装(A)	外部コンクリート保護塗装(カラークリア、クリア)					
		GW-B	グラスウール 吸音ボード	NM-8605		保護塗装(B)	内部コンクリート保護塗装(カラークリア、クリア)					
凡 例	工事名称										類別	
	岩手県立盛岡地区統合新設校体育館新築(建築)工事										A-012	
	図面名称										差し番号	
	一般共通事項・外部仕上げ表											
作成日										2024.03	編成	-